

岩山敬義  
報 告  
理事 功 程

全

函	二十五架上	二册	第十類 火大
---	-------	----	-----------

国立公文書館	
分類	
排架番号	2 A
	33-6
	(冊) 360

先般全權大使ヨリ御達相成居候畊牧事務取調書類早々  
可差出旨去月三十一日太政大臣殿御達之處右書類此程  
取調出来候間別紙目錄之通差出申候可歟御取計有之度  
此段及御依頼候也

明治八年四月廿八日 岩山勸業權助

史官

御中

記

一 英國サレンシストル農學校大意

一 冊

一 英國獸醫學校生徒規則及法度

一 冊

一 英倫農業會社

一 冊

准許狀

准許狀中規條

内則

議定

一 華盛頓府勸農寮職制

一 冊

一 同 事務章程

一 冊

合 五 冊

右之通差出假也

八年四月廿八日

共  
一  
冊

英國サレンシストル農學校大意

英國カレンシストル<sup>地名</sup>農學校ノ大意 舟木真譯  
一當校設立ノ旨趣ハ本國及ヒ屬地ニ居住セル所ノ地主  
並ニ執事等ノ農務ニ關係セル人々ヲ教諭スヘキ為メナ  
リ

學校

一當校ハ都府ヲ離ル、一凡一里半ナル、バリルス岩ノ圍  
中ニ在テ、ヲ、クリ<sup>地名</sup>ノ園圃ニ附屬セリ前面ハ南ニ向  
ヒ長サ百九十尺、北<sup>地名</sup>ウキルトシル<sup>地名</sup>ニ面ス其建設ハ礼拜  
堂、食堂、書庫、博覽場、教場、作工場、生徒室、私習所、奴僕所、アリ  
テ上階ニハ學師ノ居室ト卧室連ナレリ屋内ニハ悉ク氣  
燈ヲ照シ且温ヲ保チ風ヲ通スル良法ヲ備フ生徒ノ寢室  
ハ各別ニシテ私習ハ各其伍ヲカツ

博覽場

一當校ニハ地質学ノ見本類ト礦物類ト博物学ノ品類ト  
ヲ聚蓄セリ其中ニハガイヌ君ノ献品許多アリ又解體病  
論ノ兩序ニ利益アルベキ物品ト馬羊ノ如キ動物類ノ年  
齡ヲ詳明スヘキ為ノ模型齒トヲ備ヘ并ニ方令ローソン  
及ヒエドキンボルグノ嫡子兩氏ヨリ千八百六十二年ノ内  
國博覽會ニ出セル所ノ經濟ノ植物学ニ属セル博覽品ノ  
進呈物數多ヲ整置ス右ノ中ニハ農家ノ用フル異様ノ穀  
類ト並ニ草木各種ノ見本種子アリ又耕耘セル種々ナル  
根類ノ蠟製模形アリ○當校ノ前ノ博物学師ニシテ英國  
ノ博覽館掛リタリシ近時ノ鑿師ウードワルトノ聚積シ  
タル所ノ本國産ノ材木凡三千種ノ貯藏品ハ當博覽場ニ  
備ヘ置ケリ

### 管理

一當校ニ於テ確定セル所ノ都テノ所置ハ校中ノ各局ヲ  
管理シ且諸事ニツキ民委官ト其長官トヨリノ責ニ應ス  
ヘキ所ノ校頭ニ委托スル校頭ハ入学生徒ノ宗法ノ教諭  
ト礼式ノ訓誨トニ注意シ并ニ當校ノ規則ニ隨ヒ順序ヲ  
歴テ通学セル所ノ外来生徒ノ行跡ト職業トノ監督ヲ司  
ル

### 農事

一耕植ノ教授ハ講義ト圃中ニ在テ日々現業セル輩トニ  
テ為セリ○農業教諭ノ次序ハ唯氣候ノ異ナル各地ヲ畊  
耘セルトト獸類ヲ畜育シテ蕃殖セシムルトト器械作用  
ノ定法等トニツキ文学ノ談論ヲ為スノミニ非ズ又コソ  
ウナルト田圃ノ耕植ヲ明亮ニ説キ論スナリソレハ圃中ノ  
住民ノ整ヘタルモノニテ生徒ノ到ル妨ケナシ○生徒ニ

八圃中ノ事業ヲ各悉ク日誌ニ記セシメ其事ヲ以テ十分ニ會得セシムルヲ要ス

田圃

一田圃ハ五百エイクルニシテ内四百五十エイクルヲ耕地トス其土ニハ洪ナル大理石ト小粒石灰石ト雜錯セリ故ニ多クハ脆シ○生徒ノ注意ニ便利ナル所ノサレンシストルノ動物市場ニテハ方今英國西部ノ至良ノ畜類ヲ望觀スベシ就中羊ハ數多ニシテ其質上等ニ位セリ諸品ハ糶賣シテ外客ヲ集メ覽ヲ勵マシテ公ケナル市場トセルヲ其法式ノ窠良ナル成効ヲ見ルニ足レリ○左ニ追加シテ賣却セル牛羊ノ増負ヲ示ス

糶賣セシ羊ノ頭數	十百六十年	同	二年	同	三年	同	四年	同	五年
	一万七千七百一十一	一万七千七百	二万五千八百七十一	二万六千九百六十七	二万七千九百九十一	二万七千九百九十一	二万七千九百九十一	二万七千九百九十一	二万七千九百九十一

同所有角牛ノ頭數	五百七十四	七百	八百九十五	九百〇八	千〇二十七				
同新ニテ得タル金高	三万三千七百二十六ポンド	四万九千七百十九ポンド	七万〇八百零九ポンド	七万四千二百七十三ポンド	六万六千九百四十ポンド				
右ヲ平均シテ月割ニナセハ左ノ通り	十百六十年	同	二年	同	三年	同	四年	同	五年

月毎ニ賣却シタル羊ノ頭數	九百八十	千四百五十五	二千五百五十六	二千二百四十七	二千三百十
同新 牛ノ頭數	四十八	五十八	七十五	七十五	百十四
同新 金高	二千八百十ポンド	四千四百四十三ポンド	五千九百〇三ポンド	六千八百八十九ポンド	七千四百三十七ポンド

○サレンシストルノ農會社ニ於テ農事ノ講義論說ハ当校ノ生徒ノ為メニ要務ナリト新タニ確定ナセリ此事ニツキ經驗ト良憲トハ偶然ノ異変起ル時ニ当リ農家ノ為メニ補助誘導ヲ供スルモノナレハソレニ應スル至良ノ標準ヲ設ケ右ノ如キ社中ノ有益ニ意ヲ注ガンヲ近來ノ農事新報ニ掲ケタリ之ニ依テ当地ニ於テエドモンツ氏

千八百六十四年ノ年數前  
父ト不台  
恐ラクハハカ  
原書ニ概  
テ疑ヲ存ス

ハ曾テ聞シ如ク獸類畜養ノ至善ノ講義ヲナシ農学校ノ  
教師ヲイトソンハ、名地ボルランドノ蔬菜耕耘法  
ノ教誨ヲ映ヘ、エルゼルノン氏ハ、ゴツワルド人ノ牧セ  
ルリンコルン羊ノフヲ悉ク辨明シタルフ以テ、サレン  
シストル會社ノ為メニ引説ヲ為セリ

試験圃

一三十「エイクル」ヲ試験ノ田圃トシ其精密ナル記録ト動  
植物産物ノ重量式トニヨリ生徒ヲシテ田圃作業ノ緊要  
ナル講説ヲ大抵熟知セシムヘキ様設置ナレリ○圃中ニ  
於テ試験セシ結果ノ記録ハ學術并ニ作業ト号シ千八百  
六十五年ニ叙メタル所ノ当校ノ日誌中ニ刊掲セリ其書  
ハ二冊ニシテ世ニ流布セリ

現業

一生徒ク請ニ應シ或ハ牛或ハ羊或ハ豚ヲ授ケ各負ニ現  
業ヲ分賦シテ働作セシメ其業ノ勝ル者ニハ耕鋤及ヒ羊  
毛ヲ剪取スル者ノ如クニ褒賞ヲ與フ

究理并ニ機械學

一此西學ノ教諭ハ校頭之ヲ授ク

分析學并ニ分析手工

一能ク整ヘタル工場ヲ以テ分析製法并ニ解剖ノ場ニ供  
シ而テ化學ノ博士ト其輔官ノ指示セル所ノ各級ノ生徒  
ニ教授ス○大抵尋常品ノ性質ヲ會得セル所ノ生徒ニハ  
農家ノ直ニニ關係スヘキ所ノ品類ノ單質ヨリシテ複質  
ニ進ミ肥糞玉類植物灰田産物ノ分析ナルヘキ學術ヲ教  
授了解ナサシムルナリ○右教訓ノ外ニ無機有機耕作ノ  
分析學ヲ式ニ隨ヒ講説問答シテ教授ナセリ製作ノ肥糞



油糟水類等ノ如キハ当校工場ニ於テ日々ニ分析セリ并ニ上達セル生徒ガ直ニチヨルチ氏及ヒ助官ノ指令ヲ受ケ此事分析ヲ精密ニナサンコトヲ企マリ

博物學

一冬月間ノ講義ハ地質學ナリ又異ナル地質ヲ見得ラルヘキ所ノシリエン<sup>名地</sup>ヨリ、チャー<sup>名地</sup>クノ近傍迄ヲ徘徊ナサシム○夏月ノ講義ニハ本草學ノ組織質法式ノ道理ヲ述ヘ且生徒ガシテ實務ニ從事シ分析セシ所ノ植物ノ説ヲ以テ各自ニ書記セシム其講義ハ多クノ圖画并ニ見本類ヲ聚輯シ置キ詳明ニナセリ現業ノ為ニ用アル物品ハ大ニ國內ノ植物ヲ集メ培養セル所ノ本草園ヨリ之ヲ供ス

獸醫外科術

一此課ノ教授ハ当學校ニ付屬セル病院ノ条ニ述ル如ク解剖學ト病學ト醫學トニシテ務メテ有用ナル業ヲ教諭ナサンガ為メ生徒ヲシテ特別ニ死体検査ノ處措ヲ許シ其始末ヲ明亮ニ書記セシムルヲ要セリ

數學并ニ測量

一此課ニ於テハ測量術ト掌簿法トヲ教授シ數學ノ目途トシテ測量ヲナスコトヲ兼ヌコレハ時ヲ定メテ屢ニシドライト<sup>土地ノ高低</sup>度<sup>器</sup>及ヒ酒精準<sup>器</sup>オノ如キ器械ヲ用ヒ田野ヲ測量シ土地ヲ平坦ニナスヘキ實業ニ從事セシムルナリ

建築并ニ器械ノ圖ヲ曳ク事

一民委官長ノ関カレル南ケンシント<sup>名地</sup>ニ在ル文學手藝局ヨリ証書ヲ得タル所ノ學師是等ヲ教授セリ

匠人并ニ鍛冶職

一此職業ヲ好ムル生徒ニハ田圃ノ建築ニ付屬セル所ノ  
工場ニ於テ教授セリ

入校免許

一入学生徒ヲ許スヘキ者ハ年齢十六歳ニシテ必ス過十  
ナク校頭ヨリ供スヘキ所ノ英語ヲ聞書シ且ツ美術ノ数  
例ヲ為シ遂クベキ学業アラサルヲ得ス○外来生徒ハ講  
義ヲ聴聞シ且ツ学則ノ如ク教諭ヲ受ルヲ許ス但シ官  
賃モシ生徒当校ノ規則ニ違背シ不良ノ所業アルヲ知  
ル時ハ其謝金ヲ以テ過料トナシ直ニ之ヲ官ニ収了スヘ  
シ又或時ハ例外ノヲアリト雖モ外来生徒ノ年齢ハ二十  
一歳ナラザルヲ得ス

休課

一毎年兩次ニ於テ四十九日ツノ休課アリ復ノ休日ハ  
六月十八日ニ始メ冬ノ休日ハ十二月十八日ニ始メレリ

入費

一毎年半年分ツノ前金ニ納ムヘキ入費

入学生徒百廿五ポンド 外来生徒五十ポンド

生徒ノ為メニ設ケタル所ノ僅ノ私室ハ校内ニ在リ此室  
ヲ要スル生徒ニハ二十五ポンドノ増費ヲ納メシム○書  
籍ヲ省キ自餘ノ入費ハソノ中ヨリ之ヲ辨ス○内外生徒  
当校ヲ退カント欲スル時ハ年ノ四次ノ達シ日ニ其趣ヲ  
必ス校頭ニ開申セサルヲ得ス其謝金ハ即チ四分一ノ割  
タルヘシ右四次ノ定日ハ一月六日四月六日七月六日十  
月六日ナリ○シクスフアルド地ニ於テノ檢査ノ第一等証  
書ヲ所持スル欵或ハカムブリジニ於テノ檢査ノ中等証

書ヲ所持シテ当校ノ免許証書ヲ得ンコトヲ欲スル所ノ然  
生徒ヲシテ年毎ニ四次競争セシメ其上等ナル者六名ハ  
四十ポンドツ、ノ褒賞ヲ受ク○検査ノ席ヲ設クル毎ニ  
各級ノ第一番トナル生徒ニハ十ポンドツ、同第二番  
トナル者ニハ五ポンドツ、ノ褒賞ヲ給ス若シ毎年西  
次ノ検査、シテ其級三等ナル者ハ二十ポンドツ、賞ヲ  
受ル者三名ト十ポンドツ、ノ賞ヲ受ル者三名ナリ三个  
月分ノ入費ヲ納メテ入学セル生徒ハ右ノ競争ヲ許スト  
雖モ凡五歩以上学業進歩ノ徴ヲ得サレハ其褒賞ヲ受ル  
能ハス○耶蘇生日毎ニ、ハイガーツ、メタルト唱フルモノ  
ヲ典ク又免許証書ヲ得ント欲シテ奨勵セル所ノ生徒ニ  
アラサレハ其検査ヲ乞フ能ハス○金錢ハ悉ク倫敦ノバ  
ルネツト社中タルサレシスホルノ、銀行ニ納

ムヘシ

### 免許證書

一當校ノ社友トナリ昇級シテ得ヘキ所ノ免許証書ハ農  
事ト掌簿法ト分析学ト其學術試験ノ為ニ選喚シタル問  
題トノ検査ヲ十分ニ成シ得タル所ノ者ハ二個年目ノ末  
ニ於テ之ヲ得ラル、ナリ○版紙ノ試験外ニ圃中ト工場  
トニ於テ或ル時間中現業ノ検査アリ数学検査ノ時ハ器  
并ニ器械類ヲ以テ測量セシム○第三ノ問題獣医外科術  
ナルキハ其免許ヲ願フ者ニ動物ノ構成ト疾病ト治療ト  
ノ実務ノ學術ヲナサシムルヲ要ス若シ第三ノ問題博物  
学局ノ三課ノ一ツナルキハ博物学ノ要畧ニ関セル所ノ  
物事ヲ検査シ若シ植物学ナレハ英國産ノ尋常ノ草木ト  
圃植スヘキ種子トノ実務ノ學術ヲ試シ若シ地質学ナレ

ハ紀年毎ノ固有ノ化石類ニテ検査スヘシ○一級ヨリ三級迄ノ間ノ検査毎ニ其問題ノ半分ヲ成シ遂ル事能ハスシテ全題三分ノ二ヲナシ得サル所ノ者ハ免許証ヲ受クヘキ望ムトナルヲ許サス○問題ノ答ヲ過チタル生徒ノ再次検査ハ其次席ノ検査ハ其次席ノ検査ノ時ニアラサレハ許サバルヘシ初席ノ旨趣ハ農事耕植六百号測量三百号無機分析学六百号組成植物学三百号地質学三百号解剖并ニ動植学三百号掌簿法三百号器械ヲ画ク一三百号第三席ノ旨趣ハ農事樹木六百号器械学三百号農事分析学六百号病学ノ原因並ニ健康学三百号掌簿法三百号画ク一三百号○此

式ニ依テ農事ト分析学トノ為メニ選ヒタル或一題トノ試験ノ精密ナル廣キ知覚ニ加フルニ種々ナル學術ノ基本ヲ善ク會得セシムル事ヲ要セリ○若シ農事ヲ勉強ナサバル歟或ハ官負ノ欲セサル舉動ヲナセシ所ノ生徒ニハ免許証書及ヒ他ノ証書モ与ヘラレサルナリ○會友ノ名録ハ小引ノ中ニ掲ケリ又一席及ヒ半歳ノ目的トナレル検査問題ヲ列シタル所ノ原稿ヲ付屬セリ此問題ハ検査ヲ受ケタル所ノ生徒ノ案前ニ意ヲ注キタル講義ト現業教諭トヨリ輯メタルニヨリ其生徒ヲシテ当校ニテ教授シタル各款ヲ十分ニ集フル事ヲ得セシム○下条ニ二年間ノ教義ノ順序ト各課ノ教義細領ト校中ニテ以フル要略トヲ縷述ス

教義ノ順序

第一席

一級 農事(土地肥糞器械) 分析學(無機) 測量 掌簿  
地質并ニ本草學 解剖並ニ動植物學 罔ヲ曳ク事(雜  
形)

第二席

二級 農事(収納) 分析學(有機) 測量スル事 地質并ニ  
本草學 解剖并ニ動植物學 罔ヲ曳ク事(器械) 掌簿法

第三席

三級 農事(貯藏并ニ作業) 分析學(農事) 器械學 地質  
并ニ本草學 醫學 罔ヲ曳ク事(模罔) 掌簿法  
農事教義ノ綱領

第一席

第一 土ノ原由ト分賦ト性質并ニ水質ヲ作り或ハ二層目

ノ土ヲ起反シ或ハ溝渠ヲ設ケ或ハ粘土乃至石灰乃至糞  
土乃至白堊乃至肥類ヲ用ヒ土地ヲ良化ニスルト并ニ通  
常ノ耕耘

第二 莊園肥 水肥 雜糞 海品肥ノ所置ト適用並ニ

青植物ヲ肥ニ用フルト並ニ人巧肥糞ノ搬運法及ヒ適用

第三 犁類及ヒ其使用并ニ馬鋤類及ヒ其他ノ耕耘器械  
并ニ播種及ヒ肥糞分賦器械并ニ枯草器械并ニ刈収及ヒ

堆積器械并ニ穀物コナシ器械並ニ穀倉器械並ニ運送車  
並ニ穀切蕪著切穀剝器械并ニ獸類畜養器械並ニ使用稀  
ナル器械

第二席

第一 作物并ニ各種ノ土地ニ適當ナル作物ノ順番并ニ  
無作ノ休田并ニ飼料ノ根類及ヒ穀類等ノ所置并ニ諸物

ノ生育ニ應スル至良ノ土地並ニ土地持ヘ方并ニ播種ノ  
季節及ヒ方法并ニ肥類ノ種類及ヒ分量并ニ種子并ニ畊  
耜後ノ事并ニ収獲スル事并ニ市場ノ費用及ヒ豫備并ニ  
産物ノ價直并ニ所産ノ大槩

第二 草ニ蔽ハレタル地面并ニ開墾ノナルヘキ牧場

第三席 畜産

第一 農業馬并ニ其種類并ニ其諸般ノ所置并ニ畜養ス  
ル事并ニ要スル所ノ頭數并ニ給養ノ雜費并ニ八用ナル  
元金

第二 羊并ニ其種類并ニ群牝羊ノ所置并ニ羊仔復月ノ  
所置并ニ冬月畜養ノ事并ニ舍飼ノ事并ニ飼品ノ増方并  
ニ毛ノ事并ニ藥水ニ浸ス事及ヒ膏藥ヲ貼スル事并ニ工  
リクニ毎ニ飼ヒ保タルヘキ頭數

第三 牛ノ事并ニ動物門ノ定説并ニ短角種并ニ其他ノ  
英牛種并ニ犢ヲ鞠育スル事并ニ若牛冬復ノ所置并ニ肥  
大ノ抄取并ニ飼料ノ増方并ニ製乳所ノ所置并ニ牛酪及  
ニ乾酪製方并ニ実業

第四 豚類并ニ牝豚ノ所置并ニ飼置事并ニ肥大ナラシ  
ムル事并ニ肉ヲ塩漬ニスル事

第五 田圃ノ建家并ニ其光景并ニ村落ノ離家并ニ諸般  
ノ雛形及ヒ廣狹并ニ造営及ヒ入費

第六 塙柵類

第七 元金

第八 地價

第九 田圃ヲ始メ及ヒ廢スル事并ニ地面ヲ貸シ及ヒ約  
定スル事

第十 作業并ニ日課作業

第十一 蒸氣器械ノ耕耘 田野現業輩ノ第一席第二席  
第三席ノ事 現業輩ニハ夏月中ハ六時三十分ヨリ七時  
四十五分迄冬月中ハ六時四十五分ヨリ七時四十五分迄  
作業セシム其教諭ハ現業輩ノ圃中ニ働作セル時ノ監督  
ト器械ノ検査ト動物ノ重量ト肥瘦セル畜産ノ價ヲ論ジ  
且ツ夫ヲ計算スル事等ヲ授ク

第四席

一 田野現業輩ハ右ノ外ニ遊歩ノ為メ近隣ノ田圃ヲ徘徊  
セシム○現業ハ当校ノ圃中ニ於テ十分ナサシムヘキ機  
會ヲ交付ス○又農事監督或ハ牧羊官并ニ其助官或  
ハ養豚家或乃至試験書記官等ノ缺負セル時ハ試験圃中  
ニ於テ各自ニ望メル生徒ノ定リタル職ヲ農事ノ教頭ヨ

リ授ルナリ○要略書ノ價ウキルソシク英國農業十二シルリ  
ングウキルソシク田圃収獲十三シルリングモルトン作業  
手簿ニシルリングモルトン君農曆十五シルリングバイ  
トンス地租耕耘十シルリング六ペンズ

分析学

第一席

一無機分析学 分析学ノ旨趣并ニ力及ヒ物并ニ力ノ関  
係并ニ物ノ性質并ニ元素并ニ極微分子ノ重量并ニ緻密  
并ニ分析親和力并ニ結分力并ニ水素酸素并ニ水ノ質及  
ヒ其生シ方用ヒ方形勢蒸散并ニ窒素大氣アンモニア及  
ヒ其根原及ヒ用方ノ緊要并ニ酸化窒素并ニ硝酸及ヒ硝  
酸ノ草木ニ肝要ナル事并ニ硫黄及ヒ其雜合并ニ硫酸及  
ヒ其製造及ヒ用ヒ并ニ燐及ヒ燐酸ハ農業ニ大切ナル事

并ニ炭素金剛石クレファイト木炭復質酸化炭素及ヒ動植  
 生油ノ比較并ニシリコン并ニ燧石炭水晶砂肉色石其他  
 衛生類并ニコロリオンブロミーンアイソドキン元素ハ  
 名並ニ細粉

○金屬 アルミニウム及ヒポタシウム并ニ新タニ見出しタ  
 ル、アルカリリン金屬并ニ銀及ヒ其本原及ヒ性質并ニ銅  
 及ヒ其鑛物及ヒ製造並ニ金及ヒ其雜合及ヒ其搜出並ニ  
 カリウムバリウムストロンチウム 鑛名并ニ燒石灰及  
 ヒ其用ヒ并ニ石灰石及ヒ大理石並ニ礬石及ヒアレンチモ  
 ニ及ヒ其雜合及ヒ其着出并ニ金及ヒ白金及ヒ其出現  
 及ヒ并ニ夾雜物

分析學  
 第二席

一有機分析學 此學科ノ面積并ニ動植ニ物ヨリ直ニ  
 生ニタル獸或ハ直ニサラサル有機混合物並ニ有機混合  
 物ノ人工製造并ニ有機体ト其雜合トノ分析并ニ同比例  
 質并ニ不同比例質並ニ異質同和量并ニ有機体ノ經驗心  
 理書式ノ主意并ニ有機体ノ解剖○蒸溜水酒及ヒ其本原  
 トサレル物并ニ精氣ノ香アル混合物并ニ哥羅方水并ニ  
 蟻酸并ニ洋靛質并ニ酸模酸并ニ醋酸及ヒ其製造并ニ酒  
 精及ヒ發酵ノ模様并ニ精氣并ニ油質并ニ油脂ノ本質并  
 ニ石鹼及ヒ蠟燭ノ製造○澱粉及ヒ砂糖其他アミロイツ  
 炭水ノ二素ニテノグリニマイツ甜味ノ糖並ニ砂糖製造  
 并ニ酒石酸安息香酸乳酸佛手柑酸林檎酸○肉ニサレル  
 物則チ蛋白質及ヒ其同質物○純精油類及ヒ樹脂并ニ漆  
 類并ニ含炭水素并ニ石朧油及ヒ山毛榉油并ニ毒大藥鹽



基礎泥、塩基、植物、塩基并ニ、アニリン、炭水酸ノ三素、  
及ヒ石炭油、画具并ニ尿質、尿酸及ヒ唾涎、臭液類ノ分析  
學

分析學

第三席

一 農業分析學 農事ト分析學トノ離ルヘカラ、其ノ歴史  
並ニ植物ニ滋養トナル物并ニ土ノ原因及ヒ性質并ニ分  
析ニテ、土地ヲ改良ニスルヲ并ニ土類分析并ニ植物ト土  
トノ關係並ニ各種収納品ノ作法并ニ草木ノ成育セル分  
析ノ變更并ニ作物ヲ噴播ニナス事並ニ別格及ヒ尋常肥  
糞類并ニ莊園肥ノ製法并ニ鳥糞ト過燐酸塩トノ性質及  
ヒ分析并ニ其他肥糞類ノリ并ニ動物ヲ畜養スルヲ并ニ  
食品ノ成分并ニ食物ノ製作、増減并ニ食品經濟

現業分析學

第一席

一 分析手工并ニ水類ト土類ト食類ト過燐酸塩ト其他ノ  
肥類トカス類ノ通常ノ適用ト尋常ノ酸類トヲ現ニ試験  
スル事

第二席

一 金屬及ヒ酸類ノ本質ヲ論ヒ分析試験スル事

第三席

一 土類肥類及ヒ田産ノ本質ヲ論スル分析 ○農事ノ模範  
ニ依リ總教諭ノ基礎タル純粹ノ分析學術ノ原由ヲ説明  
ササシガ為メ工場科目及ヒ試験講義ニ拘ハレル所ノ作  
業ハ常ニ勉勵シテ怠ルヲナシ ○要略書ノ慣ハチヨル并  
ノ工場手引五シルリング六バンス、ロスヨリスノ分析學

山北リング六ベンス、ソノノ分析学十四ニルリング  
六ベンス、ソノノ農業分析学六ニルリング六ベ  
ニス成熟如何ナシルリング六ベンス

数学并ニ測量

第一席

一度量 数学及ニ點竄初歩并ニ耕耘セル各種ノ地面ト  
種々ノ植物ノ生ニタル土地トヲ器械ニテ測量シ及ニ板  
石五硝子鐵工画工ノ如キ工面ノ課業ヲ計算スルト并ニ  
水櫃溝渠井戸積肥壁及ニ道路ノ土石ガヲ量リ并ニ水  
質亦堆積堆家畜森林ヲ算スルト○對數比例式 俸給等  
ニ屬セル問題并ニ地獄再讀手數料并ニ交換現價等

掌簿法

第二席

一 測量ノ總部ヲ悉ク測量スル事 鐘及ニ十字杖ヲ用ヒ  
原野ヲ量リ并ニ測量器械ニテ高低遠近ヲ知リ并ニ土地  
ヲ平坦ニサスルヲ習練ス

第三席

一 器械学 物品類ノ重量ヲ計算サス方法並ニ特別ノ工  
事ヲサセル時ノ器械類ノ業ヲサセル作用上ノ單位數并  
ニ物ノ勢カ并ニ蒸氣器械并ニ唧筒并ニ水車并水カ榨及  
ヒ起水機并器械カ並ニ摩機○農業器械ニ關係セリト思  
考スヘキ時ノ動物力学ノ部ニ屬セル雜中カノ類并ニ積  
聚動作○掌簿法○要略書ノ價ホスビトノ求積及ニ測量  
六ニルリングドウ申スデンノ器械学十二ニルリング巡街  
官掌簿法

博物学

第一 本草学四月ヨリ六月マデ

一 諸般ノ草木組織想像学及ヒ動植学並ニ草木ノ内部造法并ニ小孔及ヒ細胞并ニ葉綠澱粉護膜砂糖結晶品類等  
○植物ノ根莖幹葉等ノ外部ノ組成及ヒ頭表○動植ニ物ノ小孔及ヒ細胞学○植物体中ノ流液及ヒガスノ運行○植物分析学○植物ノ養物及ヒ呼吸○植物ニ光素温素電氣等ノ感ズル事○植物ノ更生スル事○顕花類及ヒ雜種異種ヲ豊肥シ及ヒ分殖スル事

第二 八月ヨリ十月マデ

一 植物ノ特別ナル組織想像学及ヒ分科○無花ノ植物鈔抄○無花ノ植物鈔抄○有花植物一種子苞カプセルニ種子苞カプセルノ性質大別  
○農業及ヒ經濟ニ緊要ナル植物ノ自然品階○地理学ニツキ穀類等ノ分賦

現業輩ノ事

一 此生徒ニハ博士ハンスロノ著セル目錄ニ随ヒ植物ヲ檢査シ及ヒ書記スルヲ教授ス并ニ一週日毎ニ州郡ヲ徘徊セシメテ野花類ヲ了解セシムルヲ勉ム○周旋セル書類ノ價ヲフリーホルノ本草学初歩四シルリングペンヌブローユルノ英鳥生徒花譜十シルリング六ペンス

地質学 十月ヨリ十二月迄并ニ二月ヨリ四月迄

一 岩類ノ分科并ニ岩ニ含有セル所ノ至極緊要ナル金屬并ニ岩面ニ露レタル組成并ニ地層ノ形状并ニ岩ノ裂ケ口及ヒ接合及ヒ假偽ノ重層及ヒ薄片及ヒ結晶質○及對傾斜反對下向傾斜瑕缺ナル称アル所ノ錯乱セル岩層并ニ露出岩及ヒ地層ノ不平行并ニ大地ノ過去現在ノ高低証據并ニ水ト大氣トノ業ニ依テ岩類ヲ磨下スルコト并

ニ土ノ造成○層成セル岩類ノ順次及ヒ分科及ヒ英國ノ  
地表ニ露露セル形勢及ヒ其含有セル有用ナル品物及ヒ  
鑛物○第一紀年第二紀年第三紀年ノ固有ノ化石○窮理  
地質兩学ニ拘ハレル所ノ、コウナルト郡ノ地質組成○水  
源及ヒ井泉論理○生徒ニハ一周日毎ニ郡中ヲ徘徊セシ  
メテ地質学ヲ會得セシムルヲ要ス○吹捧セル書籍ノ  
價、ラムセイノ地理々学及ヒ大英國地質学四シルリング  
六ペンズ、ジュークスノ地質学教科手簿四シルリング

### 動物学

一動物ト植物トノ區別并ニ動物体ノ通常ノ組成及ヒ分  
析本質○左ノ動物類ノ行状及ヒ性質 第一胎生獸ノ順  
次則チ飛鼠類羽蟲ニテ育ツ獸類啮獸類 *Synanthrape* 像似  
螺軟 *Artiodactyla* 詳并ニ鯨ノ如キ海動物并ニ肉食獸

類○ *Fish* 魚類 *Amphibia* 兩栖類 *Reptilia* 爬虫類 *Birds* 鳥類 *Mammalia* 哺乳類  
○セフ、ハロポータ蟹類ガステロポータ *Nautilus* 蛸牛ニ似ル牡蠣類手  
足ヲ伸縮スル者數頭一塊トナレル者○インセクタクミリ  
アポダ *Amphibia* 詳萬尾虫類蟹類アンチルダスエトルルシダ *Amphibia* 詳其  
他通常内部ノ寄生者○エチノデルマタ *Amphibia* ○アクチノゾ  
ア *Amphibia* 并ニ海月類○頭微鏡蟲類○スポンジダ *Amphibia* 小孔アル貝  
類グレガリニダ *Amphibia* ○吹捧セル書籍ノ價動物分科手引六シル  
リング

### 獣医外科術

#### 第一席

一牛馬羊豚犬ノ解剖学

#### 第二席

第三席

一馬ノ外部容貌并ニ純粹種類并ニ雜種  
 馬戰馬鞍獸壯馬小馬鞍獸○乳獸ノ外部容貌并ニ乳質ヲ示ス体部ノ微候並ニゲルロンノ法式并ニ乳質ニ依テ分泌ニ感アル一並ニ生殖スル一并ニ獸ノ監定并ニ雜種并ニ子獸へ世襲スル疾病類等ハ則チ體骨ノ折斷腰痛并ニ踵ノ固結病馬脚嫩衝ニ目目氣管病右等ノ治療并ニ一種類ヲ生殖セシムル不益ノ事及ヒ生殖セシムヘキ正シキ年齡并ニ石胎并ニ墮胎并ニ首尾能胎妊セシムヘキ諸般ノ所置并ニ分娩并ニ自然及ヒ異常ノ現存并ニ其取扱○若獸ノ所置并ニ乳ヲ離ス一并ニ畜養スル一并ニ血病類豫防法并ニ獸類畜養并ニ馬ノ畜養並ニ風ヲ通スル一并ニ水ノ一并ニ厩内へハル、事○動物ニ季候ノ感得○屬地ニ於テ羊

ノ衰微セル原由并ニ羊毛ト羊ノ價ハ騰貴如何ノ事○要略書ノ價マグライトツノ馬綱目セシムルリング六ペンストマポヅルスノ動植物学十シムルリング六ペンスト、ヒンレイドシノ藥劑書十二シムルリング

農學校ノ生徒ノ遵奉スヘキ規則

- 第一 校中ノ生徒ハ拝殿中ニ於テ朝夕ノ神拝及ヒ諸礼ヲ務ムヘキ事○食事ニ当リ外出スル一勿レ○他出スヘキ暇ヲ得ルニ非サレハ講義等級検査ガヲ悉ク務ムヘシ
- 第二 晚暮門戸ヲ鎖セル時ハ各校中ニ在ル一ヲ要ス
- 第三 若シ教頭タル者講義及ヒ注意ヲ為ス一能ハスシテ生徒閑暇ナルハ官ノ命令アルニ非サルハ何時ニテモ圃中ニ至リ農事現業ニ歸スヘキナリ
- 第四 交付シタル所ノ田圃日誌及ヒ耕耘ニ関カレル書

籍ノ如キハ各携持スヘキナリ

第五 生徒ノ徘徊スヘキ界限ハ唯當田圃中ノミナリ○

第一章ニ掲ケタル事務ニ関係セサル時間中界限外ニ到

リト欲スル生徒ハ出行セル節門掌簿ニ各ノ姓名ト時刻

トヲ書記シ歸校ノキモ同ク其時刻ヲ記載スヘキナリ

第六 校中ニ於テハ常ニ順序ヲ正シクシ静穩ニ為ス可

キナリ

第七 午後十一時ヨリハ各自席ニ在ルヲ要ス○氣燈ヲ

消滅セル後ニハ火光ヲ用フルヲ許サス

第八 酒々精ノ如キ醸シタル飲料或ハ賭博牌子或ハ火

器類火藥等ノ如キ暴発品ヲ校中及ヒ圃中ニ携ル者ハ犯

人トシテ放逐スヘシ

第九 生徒等ニハ犬類ヲ校中及ヒ圃中ニ入ルルヲ許サ

ス

第十 吸煙セル慣習ハ務メテ失心スヘシ○若シ公地或

圃中ノ建築欲又ハ通衢中ニ於テ吸煙スルキハ罪科ニ處

スヘシ

第十一 生徒等ノ屢或ル客舎酒店衝球所ニ到ルヲ禁ス

第十二 窓戶家具及ヒ校中ノ或ル部ヲ損スル所ノ生徒

ニハ其修繕入費ヲ出サシムヘキヲ以テ本人ヨリ掌門者

ニ其趣ヲ通達スルヲ要ス

第十三 講義乃至其級ノ為メニ分付シタル時間中ニハ

遊戯類ヲ為スヘカラス

第十四 病ヲ以テ其業ノ一部ヲ免サレタル所ノ生徒ハ

准允ヲ得サレハ當校二十番地ノ外ニ出ル勿レ

第十五 關係セル局々ニ於テ上達セシ所ノ生徒ニハ各

其教師ヨリ講義ニ服事セシ趣ノ証書ヲ典フ此証書ニハ  
ソノ上達セシ旨ヲ記載サルヘシ  
第十六 當校ニ施行セル趣旨ハ一二ヲ選ニ請テ修業セ  
ル所ノ外来生徒ハ各付屬セシ講義及ヒ檢査ヲ心シク注  
意スヘキヲ要ス

英國獸醫學校生徒規則及法度

英國獸醫學校生徒ノ規則及法度

舟木真譯

第一條

年々修學ノ期限ハ冬季夏期ト二期ニ分テ十月ヨリ算日  
ス

冬季ハ十月一日ヨリ起業シ三月三十一日ニ終ル夏季ハ  
五月一日ニ始メ六月三十日ニ終ル

普通教科及講義ハ次ノ學課ヲ教ユルトス

馬其他家畜ノ並解剖比較解剖并病論

獸医治療學 外科總論

生理學 寄生動物論

寄生動物病論 化學

本草學 藥劑學

毒藥論 治療總論



製藥論

醫院取扱方

外科手術

蹄鞋脱釘ノ道理并業前

第二條

八校ヲ希望スル生徒ハ先ツ八校試験ヲ受ケサルヘカラ  
ス但シ

英吉利文典

間書

算術加減乗除

以例式

ノ課目ヲ書記シ又聲高ク讀述スルヲ以テ常例トス  
此試験題ノ外次ノ學課ヲ願人ニ撰マセ一課又ハ二三課  
ヲ試験ス可シ

英國歴史

地理学

萬物論

程數分數

小數分數

羅旬語

希臘語

佛語

日耳曼語

伊太利亞語

撰望セシ學課ヲ試験シ之ヲ許可スルハ八校試験ヲ掌理  
スル所ノ教師評議ノ権タル可シ

試験ノ謝金ハ一ギニトス英國金錢ノ名我試験ニ於テ

及第セシ願人ハ學校ノ簿帳ニ姓名年齢ヲ記載シ直ニ  
字課ニ就ク可キ事

落第セシ願人ハ次期ノ講義順序起業ノ時ニ至ラサレハ  
再試験ヲ受ケガタキモノトス但シ八校謝金ヲ領取セシ  
キハ本人ニ返却ス可シ

第三條

試験謝金ノ外各自學業ヲ始ムル時ニ於テ八校謝金トシテ廿五ギニシテ出金スヘキ事此出金ヲ濟シ尚校中ノ規則法度ニ違背セサルヲ誓約セシエハ諸科ノ講義実験解剖等悉ク出席スル氏自由タルヘシ而シテ獣医外科学学校ノ免状ヲ得ル為メ本試験ヲ受ケ全ク成業スルマテ実験化學ノ外獣医学諸科ノ教授ヲ受クヘキ通義アリトス

第四條

學生ハ各本校學規課程修業ノ間獣医外科学学校ヨリ任セラレタル試験掛集會ノ席ニ於テ二度ノ試験ヲ受ケヘキ事トス但シ

第一ノ試験ニ於テハ次ノ課目ヲ試業ス可シ

解剖学

組織学

化学

化学実験

毒藥論

藥劑學

治療總論

本草學

第二ノ試験ニ於テハ次ノ課目トス

生理学

病論

病体解剖

獣医治療學

外科總論

家畜疾病ノ徴候及治方

其他蹄鞋脫釘ノ道理并医業上ノ詳説ヲ試問スルトトス  
試験期日ハ一年間ニ三度トシ四月七月十二月ニ於テ催スヘシ

第五條

第一ノ試験ニ撰奉スヘキ學生ハ少クモ冬季一期夏季一期ノ課程ニ出席セシ者ニシテ解剖場規則ニ應シ諸体ノ

解剖ヲ実験シ家畜解剖ヲ現業上ニ了識セシムル為メ學  
頭及解剖學博士ノ必要ト考定セシ數種ノ解剖ヲ注意シ  
テ修業シ尚各科ノ博士及教官ノ講義教導等ニ止シク出  
席セシ者トス第一ノ試験ニ適當スヘキ課程時限ヲ終リ  
シ者アレハ博士ノ制定シタル方法ヲ以テ先ツ博士ニテ  
下試験ヲナシ既ニ修業シタル諸科ノ學術ヲ試問シ獸醫  
外科学校ノ試験掛集會ノ席ニ出試験ヲ受シルル為メ充  
分ナル學識ニ熟達セシヲ經驗セシキハ博士評議ノ上一  
通ノ證狀ヲ作り本人ノ教育法適當ニ第一ノ試験ニ相  
當スヘキ旨表録シ學頭ノ檢印ヲ受ケ之ヲ獸醫外科学校  
ノ書記官ニ送達スヘキ事

此證狀ナキ生徒ハ試験掛集會ニ於テ試験セサルトス  
尚此證狀ヲ請求スル者ハ各自教授サレタル各科ノ博士  
連印シタル特別ノ證書ヲ受領セシ者ニテ修學課程勉勵  
ノ確証アルニ非レハ學頭ヨリ証狀ノ送達ヲ差止ムヘキ  
事

若シ外科学校ニ昇級セシ生徒カ又ハ製藥會社ノ社  
中タル免許ヲ得シ者或ハ其他如何ナル學校ニテ七獸  
醫ノ學校ニ於テ完備セル教育順序卒業ノ者ニテ此獸  
醫外科学校ノ免狀ヲ請求スル者アレハ本校ノ卒業生  
試験ニ關係シ下試業ニ撰擧スルマテ當校ニ於テ冬夏  
二期ノ間本校創立ノ講義順序ニ出席セシムルヲ要ス  
第二ノ試験ニ撰擧スヘキ學生ハ第一ノ試験ニ於テ及第  
セシ者ニテ年齢廿歳以上ノ者トス但シ第一ノ試験及第  
ノ後引續テ學課ヲ檢究シ少クモ冬季一期ノ間

生理學

病論

臨床講義

実験解剖

ノ課業ヲ欠席ナク勉勵セシ者トス

尚又醫業上ノ詳説及醫院取扱方ニ關係シ本校ノ規則ニ  
服從セシ者ニテ足病ノ檢考蹄鞋ノ脱釘ホニ係リ才能ノ  
証據ヲ顯シタル者トス而シテ尚第一ノ試験ノ如ク再々  
下試験ヲ受ケサルヘカラス

此需要ニ應シ下試験ヲ受ケ全ク成業ノ者アレハ獸醫外  
科学校ノ免狀ヲ得ル為メ本試験ニ薦舉シタル証狀ヲ付  
典スル事トス但シ第一ノ下試験ノ及第ノ者ハ証狀ヲ許  
可スル為メ制定サレタル前文ノ規則ニ照準スヘキ事

第六條

下試験ヲ受ケ落第セシ者アレハ各自仕損シタル學科ヲ  
詳細ニ表録シ學頭ヨリ公報ス可シ但シ再試験ニ撰舉ス

ルマテ再々學課總順序ヲ教授サレサルヘカラス

第七條

獸醫外科学校ノ試験掛集會ノ席ニ於テ本試験ヲ受ケ第  
一ノ試験欵第二ノ試験ニ於テ落第セシ生徒ニテ再試験  
ヲ希望スル者ハ落第セシ日ヨリ次ノ試験期日マテ学校  
普通ノ教科ハ勿論講義等ニ欠席スルナク勉勵セシム  
ルヲ要ス而シテ尚再試験ノ時ニ於テモ第五条規則ニ照  
準シ博士ニ依テ再々下試験ヲ受シムヘキ事

第八條

下試験ニ於テ三度落第セシ者又ハ本校試験掛集會ノ席  
ニテ本試験ヲ受ケ二度落第セシ者ハ尔後通例ノ入校謝  
金ノ外尚十ギニ一ノ謝金ヲ出金スルニ非レハ各科ノ講  
義ハ勿論總テノ課業ニ出席スルナク許サス但シ謝金重

納ノ上出席セシムルモ學頭ノ決定シタル一期限ノミト  
ス

第九條

授業時間ハ午前第九時ヨリ午後第五時マテト定メ學頭  
ヨリ除免シタル休日ノ外日々無遅滞出席スヘキ事  
生徒ノ出席ハ簿帳ニ點録シ尚之ヲ精密ニスルタメ各課  
授業ノ収尾ニ於テ生徒ノ姓名ヲ呼エケヘキ事  
生徒ハ掲示サレタル授業時間ニ先立テ講堂ニ坐各自坐  
席ヲ定メ行跡ヲ正シ礼義ヲ盡スヘキ事

第十條

一學課ヲ勉勵シ他ノ課業ヲ怠惰スル者又ハ技術専門科  
ノミヲ勉メ日々ノ普通教科ニ出席セサル者ハ一ヶ月間  
欠席セシ者ト齊シク看做シ所置スヘキ事

第十一條

學頭ヨリ特別ノ許可ヲ得ルヲナク冬季又ハ夏季ノ間一  
ヶ月間續テ欠席スルカ又耽ラス凡一ヶ月ノ時日ヲ休業  
セシ者ハ第一又ハ第二ノ試験課程ニ関係シ第五條規則  
ニ詳記シタル課程期限ノ外三ヶ月間普通教科及各科ノ  
講義ニ出席セシムヘキ事

第十二條

冬季二期ノ生徒或ハ二期以前ノ生徒ハ學頭ヨリ除免ヲ  
得ルニ非レハ臨床書吏及看病人トナリ順番ニ勤務スヘ  
キ事

臨床書吏ハ競争試験ニ由テ撰舉シ二名又ハ四五名ヲ薦  
舉シ二週日間奉職セシメ追次交代セシムヘキ事  
書吏ハ日々博士ノ医院回診ニ同伴シテ諸様ノ病質ヲ注

目シ疾病ノ徴候治方及診察セシ情状ヲ檢考シ其要件ヲ簿記スルヲ以テ專任トス并ニ看病人ト共ニ病畜ニ藥劑ヲ給与シ其他医院外科医又ハ博士ノ指揮ヲ受ケ總テ医院必要ノ事務ヲ修理スヘキ事

學頭又ハ博士ハ二週日ノ終リニ於テ書吏ノ手記シタル略記簿ヲ檢査シ其可否得失ヲ標記スヘシ

第十三條

冬夏各期ノ開業ノ節競争試験ヲ為シ助教ハ名ヲ任スヘキ事

助教ハ各科ノ博士及教官ノ諸務ヲ輔佐シ校中ノ監察ヲ掌理シ規則法度ニ背戾スル者ナカラシムルヲ任トス

助教ノ列ヨリ解剖講義職ヲ撰擇スヘシサレハ解剖手術ハ証明者<sup>解剖實驗</sup>ノ指揮ニ隨從スルトス但シ証明者

ハ日々解剖場ニ出席シ解剖生徒ヲ誘導シテ現業ヲ練習セシメ尚解剖場規則ニ背戾セサル様嚴密ニ注檢スヘキ事

第十四條

諸科ノ課程卒業ノ上獸醫外科学校ノ免状ヲ得シ生徒ハ修業中ノ功績ヲ判断標記シタル功績証状ヲ受領スル者トス尚各自ノ教授サレタル各科ノ博士ヨリモ別々ノ証書ヲ領取スル歟或ハ各科ノ博士總負ノ連印セシ一通ノ証書ヲ受領スルモノトス

且本校ニ於テ醫院外科醫ヲ補任スルトアレハ此任官ヲ競争スヘキ通義アリトス

臨床書吏助教及解剖講義職ノ職務ヲ勤メシ者ニテ各自ノ職掌ヲ錯ナク做シ遂ケシ者ハ奉職成功ノ証状ヲ受領

スヘキ通義アリトス然レモ博士ヨリ許与スル通例ノ証  
状ノ外奉職成功ノ証書及ヒ功績判断表等八年々十月中  
冬期開業ノ節分与スルモノトス

### 第十五條

諸科ノ課程卒業ノ者ニテ本試験ヲ受ケ全ク及第セサル  
者ハゴールメン、プライズ名ト称スル賞典ヲ競争スル  
事トスサレドモ及第セシ學等拔羣ノ者ハ免状ヲ授与セ  
シ後ニアラサレハ褒賞分配ノ裁断ハ決定サレサルト  
ス但シゴールメン、プライズノ賞典ハ第一ノ褒美ヲ銀ノ  
賞牌功績ノ目標ヲトス第二ヲ青銅ノ賞牌トス第三ハ功  
績ヲ称讚スル階級ノ証状トス

### 第十六條

農業會社ノ郊村集會及スミツツフィールド社會社ノ例

年集會ノ節検査官首長ニ從屬シテ諸務ヲ分掌セシムル  
為メ獣医検査司輔官二名ヲ年々撰舉スヘキ事

此職掌ヲ完フセシ者ハ其任ヲ倣シ遂ケタル證據トシテ  
學頭及ヒ検査官ノ檢印シタル証状ヲ受領スル事トス蓋  
シ第一ノ本試験ニ於テ及第セシ學士ニアラサレハ如何  
ナル者ト雖モ此官職ニ撰舉サレサル者トス

### 第十七條

病院ニ於テ博士ヲ輔佐スル為メ年々競争試験ヲ催シ獸  
醫外科学校ノ免状ヲ受ケタル生徒ノ列ヨリ病院外科醫  
ヲ補任スヘシ但シ薦舉サレタル者ハ一个年ノ間其官職  
ヲ奉勤スヘキ特權ヲ受ケ尚滿期ニ至リ学校総督及学校  
會計司ノ連印セシ特別ノ証状ヲ受領シ且些少ノ酬金ヲ  
領取スル者トスサレドモ學頭及ヒ博士ノ引薦アルニ非

サレハ總督ノ裁量ヲ以テ切リニ証狀酬金等ヲ授与スル  
ノアルベカラス

學頭

ジエスボー

サイモンズ

英倫農業會社

准許狀

准許狀中規條

内則

議定



英倫農業會社准許狀

舟木真譯

大不列顛及阿爾蘭合併王國ノ女王「ポクトリアカ」神恩  
ニヨツテ此免狀ヲ附典スル各位ヲ恭賀スル所ナリ

第一條

チヤールズ ジウク、オフ、リチモンド ジカルジ、ヘ

ヌリー ジウク、オフ、グラフトン ジオン、ヘヌリー ジウク、オ

フ、ロツトレンド ジオルジ、クレンボール ジウク、オフ、ソウ

ヅレンド アルツル、ブルンデル ジオンチヤールズ ロベル

ト、ヘヌリー ツルフランシス ツルトーマス ツルゼーマス

ロベルト ジアルジク、レヘム、ヘヌリー、ヘンドレー、ジヨセ

ツ、プニールド及其他ノ同輩會盟同意シ本國一般ノ農事

ヲ進歩セシメ次ニ枚舉スル目的ヲ興隆セント欲シ一社

ヲ建立セリ即チ

第二ニハ農學書ハ勿論其他ノ學術書ヲ研究シ實驗ヲ保

証セシ者ニテ農夫ノ為メ須要ナル者アレハ其要件ヲ抄略シ之ヲ聚成スヘキ事

第二 内外諸國ノ農業會社及園藝會社及他ノ學術會社ト通信應答ヲ為シ之ニ由テ多クノ告知ヲ得本社ノ意見ニ準シ耕耘工ニ就キ實ニ裨益ヲ誘導スヘキ告知ヲ精撰シ採摘スヘキ事

第三 會社ノ請求ニ應シ前条ノ如キ告知ヲ現業ニ試験シ其實効ヲ查究セント欲シ若シ損耗ヲ招受スルコトアルハ其地主等ニ賠償ヲ供給スヘキ事

第四 農具ノ改正ニ注意セシメ尚農舍茅小屋ノ建造法及農業一般ノ趣向ニ就キ化学ノ使用法蔬菜培養ニ損害アル昆虫ヲ滅却スル法及雜草拔除ノ方法ボニ注意シテ學士ヲ勸奨セシムヘキ事

第五 人間ノ為メ切要ナル力或ハ家畜ノ食料ニ就キ須要ナル穀物其他蔬菜等ノ諸種新發明ヲ振興セシムヘキ事

第六 山林庄園圍牆ノ取扱其他總テ鄉村進歩ノ主意ニ關係シタル報知ヲ集成スヘキ事

第七 耕耘法ニ從事スル人々ヲ資給シ教育進歩ノ方法ヲ設クヘキ事

第八 牛羊豚ニ適用スヘキ獸医技術ヲ進歩セシムヘキ方法ヲ採用スヘキ事

第九 郊村ニ於テ集會ヲ催シ褒賞ヲ分施スル力或ハ他ノ方法ニ依テ庶民ヲ勸奨シ田園耕耘法ヲ始メ家畜養育ノ方法等ヲ康善ナラシムヘキ事

第十 農夫ノ安慰幸福ヲ振興シ庶民ヲ勸奨シテ農舍園

團ノ取扱ヲ進歩セシムヘキ事

其他全國ノ為メ忠節ナル主意ヲ勉勵セント欲シ協力同  
意シテ寄進金ヲ集メ巨大ノ金銀ヲ募リシ蓋シ政務ニ關  
係シタル趣意ハ勿論上下兩議院ニ於テ決議サレザル方  
法等ニ関涉シタル談論等ハ一切除斥スルヲ以テ本社ノ  
目的トナシ至要ノ主 齊備セシ工前条ノ面々及此後  
記載スル方法ニ準シ撰舉ニ供カリ入社スヘキ人々ニ會  
社ノ免狀ヲ附與スヘキ旨謹テ懇願シタリ

第二條 右懇求ニ由テ余輩ハ國王ノ守護ト助力ヲ受ケ  
本國一般ノ幸福ヲ進メ人民ノ繁榮ヲ興起セント欲シ必  
ズ成効ヲ遂グヘキ各種ノ目的ヲ勸奨シ大ニ興隆スル  
アラントテ希望ニ特別ノ恩惠ヲ以テ左ノ条件ヲ許容セ  
リ

チヤールレス ジウクオフリチモンド ジオルジヘヌリージ  
ウクオフ、グラフトン ジョーンヘヌリー ジウクオフ、ロウ  
レンド ジオルジ、グレインボール ジウクオフ、ソウセルレン  
ド、アルツル、ブルンデル ジョーン、チャールレス、ロベルト、ヘヌ  
リー、ツル、フランシス、ツル、トーマス、ツル、セルレス、ロベル  
ト、ヘヌリー、ヘードレー、及、ジョセツズ、ニールド、其他此會  
社ノ寄進人ニシテ現今社中ノ者又ハ以後制定スル法度  
内則ニ準シテ後何時ニテモ寄進者トナル者ハ此免狀ニ  
據テ英倫農業會社ノ名称ヲ有シ前文說示セシ目的ニ就  
キ會盟シタル社中ニシテ尔後永久相續スヘキ者ナリ蓋  
シ右社中ノ者ハ各位自己ノ裁量ヲ以テ法度内則ヲ變更  
シ之ヲ廢棄シ又再立スルノ全權ヲ有シ尚會社ノ名称ヲ  
以テ本國各所ノ裁訟局ニ訴訟シ又辨解ヲ呈シ或ハ已レ

ニ其責ヲ受クヘキ者トス尚又貨物家什等各物ヲ私有シ  
又賣買スルノ権利ヲ有シ尚會館邸宅田地貸家又ハ遺産  
ヲ獲得シ之ヲ私有シ使用スル等ノ特權ヲ付與セリ蓋シ  
斯有物ノ價直ハ買ヒ獲シ時ニ於テ各別ニ取立タリシ最  
高ノ價値ヲ以テ算計シ前文會館ノ地位モ合算シテ一歳  
ノ收額三千磅ヲ超サバモノトス而シテ前条ノ目的ニ  
就キ此會社ノ事務ヲ處置スルノ權利ハ本國中余等ニ從  
屬スル他ノ會社等カ適當ノ權利ヲ受ケ各自ノ事務ヲ管  
理スル如ク百般ノ事務ヲ執行スヘキ全權アリトス  
第三條 前条ノ權利ヲ付與セシニヨツテ尚世上一般ノ  
人民及ヒ會社等ニ布達シ此會社ノ使用ノ為メ邸宅田地  
貸家又遺産ヲ賣買讓與スル等ノ特別ノ官許ヲ付與セリ  
蓋シ前文說示セシ如ク年々ノ收額三千磅ニ超サバモ

ノトス

第四條 此准許狀ヲ英倫農業會社ニ允可スル上ハ右會  
社ノ會議上又ハ行為上ニ於テモ政務ニ關係シタル趣意  
ハ勿論上下兩議院ニ於テ決議サレサレ方法等ニ關係シ  
タル諸議亦ハ完ク除斥スルヲ以テ本社律例ノ注意トナ  
スベキ約条ニ依テ國民ノ為メ保護ヲ完全ナラシムルハ  
余輩ノ十分希望スル所ナリ而シテ斯ノ如ク會盟シタル  
會社ノ議定内則其他法例トナセシ者ハ如何ナル分辯虛  
托アルトモ決シテ背犯スヘカラサルモノトス  
第五條 本社寄進入社人ノ負數ハ不定トス去レ氏撰舉  
ニ回テ出金ノ額數ヲ區別シ主宰及ヒ社友ノ二類ニ分部  
シ各自特別ノ權利ヲ有ス尚本社諸様ノ目的ヲ興起スル  
為メ要スルトアルハ有名社友通信社友及ヒ他國社友ヲ

入社セシムルハキ事有名通信ノ注詳規條中ニ詳説ス

第六條 毎年三度宛主宰社友ノ大集會ヲ催シ其二度ノ集會ハ五月十二月中龍動ニ於テ興行シ尚一度ハ英倫

ニ於テ中ニ於テ本社ノ目的ヲ進歩セシムル為メ州中  
龍動ニ於テ興行スル五月ノ大集會ハ廿二日ヲ定日トシ

本日ハ曜日ニ当ルハ翌廿三日トス而シテ此會日ニ於  
テ主宰及社友ハ総長及議負ヲ撰舉スヘキ全權ヲ有ス蓋

シ撰舉サレタル總長議負ハ續テ興行スル例年郊村集會  
ノ終リニ至リ官職ニ任シ翌年ノ郊村集會マテ一介年ノ

間各自ノ職掌ヲ奉スルモノナリ  
辭職死去其他ノ所為ニ由リ上章ノ如キ官負缺位スルハ

ハ残り各位ノ同職會議シ投票撰舉ヲ為シ其舉票數多

ノ者ヲ採テ亞職セシム

議負ノ同列ハ主宰ノ組ヨリ撰舉シタル總長一名受托者  
十二名副總長十二名及主宰社友ヨリ差別ナク撰擢シタ

ル五十人ノ議負ヲ組合スルモノナリ  
總長ハ會社ノ年々撰定スル官負ニシテ一度奉職セシ者

ハ三年ノ間同職ニ再撰サレサルモノトス尚議負ノ總負  
五十名ノ内其半數廿五名ハ年々順番ヲ以テ退職スル

トス蓋シ再撰ニ異カル氏曾テ妨碍ナシ  
第七條 五月ノ大集會ニ於テハ總長受托者副總長及其

他ノ議負ヲ主宰社友ノ列ヨリ撰舉スルトス  
總長受托者副總長及議負ハ此免狀ノ全主趣ニ照準シ内

則テ叙立スヘキ權利アル故ニ時々之ヲ制理ス而シテ自  
ラ履行スル所此内則ニ由リ抑制サレ者トス蓋シ確定

シタル内則ヲ変更シ又新法ヲ制立スルニハ其意旨ヲ詳  
記シ少クモ一ヶ月前ヨリ議負各名ニ郵知スルヲ常例ト  
ス尚又斯ノ如ク撰挙サレタル総長及議負ハ會社ノ總代  
タル書記官一名ヲ任シ尚適宜ニ應ジ黜職セシムルノ權  
カヲ有ス蓋シ此書記官ハ内則又ハ特別ノ法度ニ由テ時  
々限制セシ如ク自ラ擔當シタル諸様ノ職務ヲ奉シ總長  
及議負ノ督責ヲ受クル者トス并ニ又會社ノ為メ本社ノ  
名目ヲ以テ總務ヲ代辦シ條約ヲ管理スル等悉ク此書記  
官ノ擔當スル所トス

第八條 チヤールレス ジウク、オフ、リチモン、トハ此農業會  
社ノ窠初ノ總長ニシテ尚又ジオルジヘヌリー、ジョン、ヘ  
ヌリー、ジオル、ジクレ、ン、ビール、アル、ソル、ブル、ン、デル、ジ、ヨ  
ン、チヤールレス、ロベルト、ヘヌリー、ソル、フランシス、ソルト

ー、マ、ス、ツ、ル、セ、ー、ム、ス、ロ、ベ、ルト、ヘヌリー、ヘンドリー、及、ジ  
ヨセツプ、ニール、ド、ト、共ニ窠初ノ議負同列ノモノトス其  
内三名或ハ四名ヲシテ窠初ニ會議セシメ當三月廿五日  
前後十日ノ間ニ委任者副總長議負主宰社友有名社友通  
信社友他國社友ヲ撰挙シ各別ノ職務ニ任スヘキ全權ヲ  
委任スル者トス

第九條 總長及議負ハ本社ノ歲入財本ヲ特ニ管轄スベ  
キ単任ニシテ尚其他百般ノ事務枝葉ノ条件ニ至ルマテ  
悉皆之ヲ監督處置スヘキ者トス而シテ此英倫農業會社  
ノ目的意旨ヲ事實ニ施行スル為メ必要ノ事業ハ總テ之  
ヲ執行スヘシ蓋シ准許狀ノ預約或ハ内則及外國一般ノ  
法律ニ照準セサル可カラズ

第十條 右ノ證據トシテ此免狀ヲ官許トナシ當聖代ノ

即位後第三年三月廿六日、ウエストミンスター北ノ宮殿

ニ於テ余ハ姓名ヲ自記シ保證スル者ナリ

千八百四十年第三月廿六日 エドマウング印

英倫農會社准許狀中ノ規條

但此規條ハ如何ナル時ト雖モ變更シ或ハ廢棄スル能ハサル者トス

第一條 此會社ハ英倫農業會社ノ名稱ニヨリ會盟同社シタル一社ニシテ社印ヲ有スルモノナリ

第二條 當社律例ノ主意ハ其會議工ニ於テモ又所業工ニ於テモ政務ニ關係シタル趣意ハ勿論工下兩院ニ於テ

議定セサル方法等ニ關係シタル談論等ハ完ク除斥スルヲ以テ此准許狀ノ約定トスヘシ而シテ斯ノ如ク會盟ス

ル會社ノ決議内則其他法例トナセシモノハ如何ナル分辯虛托アル氏決シテ背犯スヘカラサルモノナリ

第三條 記名入社人ノ負數ハ不定ニシテ其總負ヲ主宰及社友ノ二類ニ分部ス今主幹ト譯スルモノハ取テ事務ト云フ如ク以下之ニ倣フ

第四條 當會社ハ有名社友優等ノ名士ニテ薦舉セヨ  
斯ノ如ク假リニ通信社友ノ住所遠隔シテ事務計ルモノ音信及  
他國社友ハ外國人ニシテヲ撰舉シ入社セシムルノ権利アリ  
トス

第五條 年々三度ノ大會議ヲ興行シ其二度ノ集會ハ五  
月ト十二月中龍動ニ於テ集會シ尚一度ハ英倫ウエール  
ス中ニ於テ本社ノ目的ヲ興隆スル為メ州中窠工ノ利益  
ト考定スヘキ場所ニ於テ集會スルトス

龍動ニ於ル大會議ハ五月廿二日ヲ定日トシ本日々曜日  
ニ当ルハ廿三日トナス

第六條 主宰及ヒ社友ハ五月ノ大會議ニ於テ總長及議  
員ヲ撰舉スヘキ全権ヲ有ス蓋シ撰舉サレタル總長議員  
ハ其年ニ於テ續テ興行スル所ノ例年郊村會議ト稱スル

集會ノ結尾マテハ其官職ニ就カサルモノトス  
辭職死去其他ノ所為ニ由リ上章ノ如キ諸官ノ欠位アレ  
バ残り各位ノ同我會議ニ投票撰舉ヲ為シ舉票最多ノ者  
ヲ採テ亞我セシム

第七條 議員ノ同列ハ主宰ノ組ヨリ撰舉シタル總長一  
人受托者十二人副總長十二人及主宰社友ヨリ差別ナク撰  
舉シタル五十人ノ議員ニ由リ組合スルモノナリ

第八條 總長ハ會社ノ年々撰定スル官員ニシテ一度在  
職セシ者ハ三年ノ間同職ニ再撰サレサルモノトス

第九條 議員ノ總員五十名ノ内其半數廿五名ハ年々順  
番ヲ以テ退職スルトトス蓋シ再撰ヲ得ルトモ曾テ妨碍  
ナシ

第十條 五月ノ大會議ニ於テハ總長受托者副總長及其



他ノ議負ヲ主宰ト社友ノ列ヨリ撰舉スルトス

第十一條 議負ハ准許狀ノ全主意ニ照準シ内則ヲ初立  
スヘキ權利アル故ニ時々之ヲ制理ス而シテ自ラ履行ス  
ル所此内則ニ由テ抑制サルヘキ者トス蓋シ確定シタル

内則ヲ變更シ又新法ヲ制立スルニハ其意旨ヲ詳記シ少  
クモ一ヶ月前ヨリ議負各名ニ報知スルヲ常例トス

第十二條 議負ハ本社ノ諸務ヲ修理セシムル為メ一人  
ノ書記官ヲ任シ或ハ之ヲ轉任セシムルノ權利ヲ有ス蓋  
シ此書記官ハ會社ノ名目ヲ以テ總務ヲ代辦シ百事ヲ整

理スルモノナリ

第十三條 議負ハ本社ノ歳入財本ヲ特ニ管轄スヘキ單  
任ニシテ尚其他百般ノ事務枝葉ノ条件ニ至ルマテ悉皆

之ヲ監督處置スヘキ者ナリ而シテ此英倫農業會社ノ目

的意見ヲ事實ニ施行スル為メ必要ノ事業ハ總テ之ヲ執  
行スヘシ蓋シ准許狀ノ預約或ハ内則及ヒ土地ノ法律ニ

照準セサルヘカラス

第二篇 内則  
第一條 方今存在スル内則條例及法度ハ一切廢棄シ次  
ノ法ヲ以テ其代トナシ採用スヘシ

主宰及社友  
第二條 此會社ニ入社スルヲ願望セルモノハ何レモ主

宰又ハ社友ニ由リ其赴申請サルベキ者ニシテ其申請人  
ハ願人ヲ引薦スル赴証書ニ檢印シ之ヲ呈セサル可カ

ラス  
此書式ノ証書附例文ヲ施行シ空ハ本社ニ於テ書記官ノ  
手ニアル者ナレハ之ヲ領取シ記スヘキ事

申請人ハ願人ノ姓名履歷住所及ポストタウン在郵便局ヲ  
議負會議ノ席ニ於テ詳記スルカ又ハ書記官マテ書翰ヲ  
呈シ之ヲ詳述セサルヘカラス右ノ如キ申請ハ通例申請  
シタル會議ノ席ニ於テ即時ニ稱述スルトス又書記官  
マテ書翰ニテ申請シタル願人ナラハ其書狀ヲ落掌セシ  
次ノ集會ニ於テ陳述スルトトス  
其後証書ヲ出サシムル為メ附録第一号ノ書式証文ヲ書  
記官ヨリ願人ニ送致シ願人ハ此証書ニ自ラ記名捺印シ  
而シテ會社ニ出テ書記官ニ面陳シ証書ヲ呈出スヘシ然  
ル後翌月ノ議負會議ニ於テ撰舉ヲ施行スルニ至ル但シ  
此時ニハ手ノ顯出撰舉ノ可否ヲ決スル可トスルモノハ  
手ヲ舉テ之ヲニ由リ決断スル者ニテ撰舉スルト廢黜ス  
示スモノナリニ由リ決断スル者ニテ撰舉スルト廢黜ス  
ルハ議負ノ意見人望ニ由ルヘシ而シテ薦舉セシキハ書

記官ヨリ其赴本人ニ報告スヘシ蓋シ右書翰ハ時々議負  
ノ指揮スル約条ニ準シ附録第二号ノ書式ニ由ルヘシ  
第三條 主宰及社友ニ撰權サレタル者モ自己ノ寄進金  
ヲ捐納セシ後ニ非レハ其官位ノ特權ヲ行フヘキ通義ナ  
キハ勿論社中ノ如何ナル名簿ニモ本人ノ姓名ヲ記載セ  
サル者トス蓋シ寄進金ヲ收納セシ後ハ公然官位ノ特權  
ヲ受ケ尚然テノ名簿ニモ加名スル者トス  
主宰ハ年々五磅社友ハ一磅ノ寄進金ヲ年々捐納スヘキ  
トトス  
寄進金ハ總テ毎年一月一日ニ納ムルトトス但シ十二月  
中撰舉サレタル者ハ其節捐納セシ寄進金ヲ以テ翌年ノ  
寄進ト看做スヘシ  
主宰ハ寄進金ヲ合集シ五十磅即チ十年ヲ一時ニ收納ス

レハ之ヲ生涯ノ寄賦ト做シ其餘ノ捐納ヲ免セラル、モ  
ノトス

社友ハ十磅ニ由テ免セラル、者トス

若シ本年ノ寄進金ヲ既ニ捐納セシ後合集シテ納ムルキ

ハ其年ノ収納金ハ引去リ収納スヘシ二十年乃至二十年

以上ノ間年々寄進金ヲ捐納セシ者ニシテ収納不足ノナ

キ面々ハ爾後ノ寄進金ニ就キ本年ノ寄賦高モ包括シ五

磅ノ合集収納ヲナス氏ハ爾後ノ収納ヲ免ル者トス

本國ニ於テ寄留セサル主宰及社友ハ撰舉ノ氏直千ニ合

集収納ヲナサ、ルヘカラス蓋シ本國寄留人ノ合集収納

十年分ヲ前納スルト同額ノ者ナリ

六月一日ヲ期限トナシ本日中ニ出金セサル者ハ寄進金

収納不足ノ者トナシ其主宰及社友ハ社中ノ特權ヲ有セ

サレ者トス尚斯ノ如キ面々ハ右不足高ハ勿論本年ノ収  
金トモ捐納セシ後ニ非サレハ合集収納ヲ許サレサルモ  
ノトス

主宰社友ノ内各分類シタル組合ヲ轉移スルハ各別ニ議  
負ヨリ別段ノ許可ヲ受ケサル可カラス

第四條 主宰社友ノ内退社除名ヲ欲スル氏ハ其赴自筆

ヲ以テ詳記シ本社ニ出シ書記官ニ面陳シ願書ヲ呈出ス

ヘシ蓋シ寄進金収納不足アル者ハ例外トスヘシ尚又右

情願ヲ上告スル氏先可ヲ受ケサル間ハ寄進金ヲ捐納セ

サルヲ得ス並ニ右ノ如キ者退社允可ヲ得ル氏本社ニ収

納スヘキ金額アルハ如何ナル分辨アル氏其総額ヲ収却

シ或ハ借品アル氏ハ書籍類ヲ始メトシ總テノ物品ヲ返

濟シ若シ損失紛失等アルハ其品格ニ相應スヘキ賠償ヲ

収却スル迄ハ寄進収金ハ連續收納スヘキ事

退社除名出願ノ者ハ前年十二月三十一日マテニ其趣詳細明記シ書記官ニ報告セシニ非サレハ其年ノ寄進金ヲ收納セサルヲ得ス

第五條 主宰ハ議負會議ニ出席シ討論スルノ特権アリト雖モ議負ノ列ニ進昇セサレハ投票スルノ権利ヲ得ス主宰社交トモ寄進金ヲ捐納セシ者ハ其年ニ属スル日誌類ハ代價ヲ納ムルコトナク領取スヘキ通義アリトス尚會社ニ進呈サレタル模形類ヲ點檢シ或ハ書庫中ノ書籍ニ関涉スヘキ特権ヲ有ス

主宰及社交ハ本社ノ大議會ニハ總テ臨席シ尚各所見ヲ陳述シ又投票スヘキ通義アリトス入社ヲ願望スルモノアレハ其願人ヲ主宰又ハ社交トシ

テ推挙スヘキ通義

議負ノ決議スル約束ニ應シ謝義賠償ヲ出金スルコトアレハ化学家及獣医ノ助手ヲ受クヘキ通義

本社使用ノ為メ議負ヨリ出版サレタル公ノ書類ハ悉ク領取スヘキ通義

本社ノ郊村會議ノ節ハ議負ノ考定スル額數ニ應シ蓄産器具等ヲ出品スヘキ通義

總テノ大會議ニ臨席スル如ク郊村會議ノ節モ自由ニ出入スヘキ通義等ヲ總テ有スル者ナリ

第六條 字母順ノ簿冊ヲ備置キ主宰社交等惣負ノ撰舉ノ本日ヲ表記シ并寄進金領取高領取残りノ額數及其日附等各別ニ記シ置クヘキコト

主宰及社交ハ自身ノ寄由所又ハ代理者ノ住所ヲ時々書

記官マテ届ケ置キ而シテ此等ノ住所マテ送達サレタル  
報告公布類ハ総テ本人マテ順當ニ通達セシ如ク看做ス  
ヘシ

第七条 議員ハ有名社友通信社友又ハ他國社友ヲ撰舉  
スヘキ権利アルヲ以テ尚此會社ヲ創立セシ目的ヲ振興  
スル為メ優等拔羣ノ人物アレハ如何ナル人ト雖モ之ヲ  
撰舉シ入社ヲ請求スヘシ蓋シ斯ノ如キ優等ノ社友ハ寄  
進金ヲ賦与スルニ及ハス而シテ本社ノ集議議員會議ヲ  
ニ出席シ談論スルノ特権アリトス去レ凡投票スルノ權  
利ヲ得ス

前条ノ如キ名士ヲ撰擢セシキハ其特許狀ニハ総長ノ檢  
印ヲ受ケ書記官ノ加判ヲ添ヘ撰舉ノ報告ト共ニ書記官  
ヨリ本人ヘ急速送達スヘキ事

第七条ヨリハ条ヲ越テ九条ニ至ル不  
審ナレ凡原書ノ錯誤ナレハ其修譯ス

第九条 主宰及社友ヲ本社ヨリ除伴給暇スルハ次ノ法  
式ニ由ルヘシ

主宰社友ノ内除伴スヘキ者アレハ其趣願書ニ点記シ之  
ニ檢印シ社中十名ノ主宰又ハ社友ヨリ議員ニ送達スヘ  
シ

右願書ハ議院中著明ナル所ニ張出シ置キ書記官ハ其抄  
本ニ記名檢印シ除伴ヲ建議サレタル本人マテ郵便ニ由  
リ送達スヘキ事

右ノ如ク願書ヲ揭示セシ後一ヶ月ヲ経テ少ク凡十二人  
ノ社友列坐シタル議員例月會ニ於テ此事務ヲ評議スル  
モノトス

此時議員異論ナク此除伴ノ説ニ同意スレハ其願ハレ人

ハ暇早社外ノモノトス蓋シ同説セサルキハ尚本人ノ為  
メ評論スルヲトス尚又除伴ヲ命スル氏本人ノ負債出金  
等ヲ補救スルヲナキ成ハ合集指納ヲナセシ者ニテ其  
賠償ヲ求ムルニモ非サルキハ殊更ニ談議ヲ盡スヘキト  
トス

第十條 有名社友他國社友通信社友モ主宰及社友ノ除  
伴ニ就キ辨解セシ法式ニ準シ黜職セシムヘキ事

第十一條 当社ニテハ主宰及社友ノ間ニ金銀ヲ以テ利  
益ノ配分贈物等ハ為スヘカラサル事

第十二條 主宰社友ノ内准許狀ノ預約ニ背キ又ハ内則  
ヲ犯シ其法則ヲ知悉セス或ハ其抄本ヲ領取セサル等ノ  
口実ヲ以テ其罪ヲ脱レントスルモ宥寬スヘカラサル事  
第十三條 主宰及社友ニシテ議負ニ進昇セサルモノハ

社中ノ事務ヲ管理シ又ハ所有物家具等ヲ管轄シ之ニ無  
涉スルノ通義ナレトス蓋シ此後放棄スル如ク大集會ニ  
於テハ此例ニ在ラス

### 大集會

第十四條 毎年龍動ニ於テ興行スル大集會二度ノ公布  
ハ議負ノ裁決スル新聞紙ニ於テ廣告スルヲトス

此兩會ニ申請シタル總テノ撰挙及議定スヘキ事務ハ議  
負撰舉ノ外悉ク手ノ顯出ニ由リ決定スルヲトス

十二月ノ大會議ハ本月中議負ノ決定スル期日ニ於テ設  
クル者ニテ又郊村例年集會モ同シク議負ノ裁判ニヨリ  
其時日場所等ヲ定ムヘキ事

郊村集會ノ場所ハ前年中五月ノ第一ノ水曜日ニ於テ議  
負之ヲ議定シ其次ノ大集會ニ於テ告示スヘキ事

龍動ノ大集會ニ於テハ毎ニ議負ヨリ報呈スル告書及會  
計ノ書記ヲ陳讀シ列席ノ主宰及社友ハ其告書中ノ事實  
注詳等ヲ熟考シ其他百般ノ事務取扱ニ關係シ各位ノ思  
慮スル所ヲ陳述シ議負ニ詰問スヘシ  
大集會ニ列席スル者ハ主宰及社友又ハ總長ノ指令書ヲ  
有スル人々ニシテ臨席スル氏ハ列席許可ノ趣各自記記  
シ名刺ヲ差出スヘキ事

第十五條 五月ノ大集會ニハ諸務ニ先立テ總長副總長  
及受托者ヲ撰擧ス蓋シ手ノ顯出ニ由リ拔擢スヘキ事  
右撰擧ノ後順番ニヨリ退職スル議負廿五名ノ代人ヲ撰  
撰スヘシ但シ此撰擧ハ次ノ法則ニ從フヘシ

### 撰擧法第一則

即今順番ニヨリ退職シ尚再撰ヲナス氏故障ナキ議負ノ

姓名書ヲ五月ノ一日カ又ハ其前ニ於テ整完シ社中諸局  
ニ於テ點檢セシムヘキ事

### 第二則

五月ノ第一ノ水曜日ニ於テ議負ハ即今新タニ撰擧スル  
カ又ハ再撰セシ主宰社友廿五名ノ姓名書ヲ整完ス

但シ此姓名書ニハ前二年ノ間議負會議又ハコンミツチ  
特任會議ニ此面々ノ臨席セシ度數ヲ詳記シ且ツ此姓  
名書ハ議負ノ裁判ニ應シ農業新聞ニ於テ直ニ廣告ス  
ヘキ事

此姓名書ヲ領取セント欲望スル主宰及社友ハ大集會ノ  
本日カ又ハ前週中日曜日ノ外十字ヨリ四字迄ノ間ニ書  
記官マテ出願スル氏ハ各分与サレ、者トス

### 第三則

投票ハ主宰社友ノ内願望スル者ヲシテ投票セシム蓋シ  
投票ノ姓名書ニハ自ラ記名捺印シ撰舉ニ適當スルト思  
察スル人々ノ姓名ヲ塗抹シ又ハ加名セント思考セシム  
カレハ其姓名ヲ加ヘ大集會ニ於テ書記官ニ進呈スヘシ  
總長ハ姓名書ヲ悉ク領掌セシキ投票査察者三名ヲ任ス  
ヘシ而シテ此面々ハ一室ニ引退シ投票シタル姓名書ヲ  
点檢シ投票家多ノ者廿五名ノ姓名ヲ表録シ即時ニ集會  
ニ報告スヘシ其後此投票ノ紙類ハ直クニ滅却スルモノ  
トス  
若シ姓名書上ニ於テ廿五名以上ノ名ヲ指摘スルキハ其  
姓名書ハ採用セザル者トス  
主宰及社友共書記官ニ謁見シ自ラ呈スルニ非レハ投  
票スルヲ許サス

投票ノ額數相敵スル者アレハ手ノ頭出ニ由テ撰擢ヲ施  
行シ其頭出ノ衆寡ニ應シ黜陟スヘシ

### 總長

第十六條 總長ハ亞哉者撰擢ノ日ヨリ三年ノ間ハ其  
官位ニ再ヒ撰任サル、ヲ得ス

總長ハ本社ニ關係シタル公務ニ於テハ總テ主宰社友ノ  
上席タルヘシ且ツ自己ノ意見ニ隨ヒ議負會議ヲ呼催ス  
ヘキ全權ヲ有シ其集會ニ列坐スルキハ每會議長タルヘ  
シ

總長ハ勿論其他議長タル者ハ論議上ニ於テ等カスルキ  
ハ之ヲ決議スル為メ自己ノ投票ノ外ニ尚投票スヘキ特  
權アリトス

總長ハ議院ノ名目ヲ表記スル者ニテ不利益ト察知セザ



ル者ニハ書翰類謝書ハキ用ユル書付ナルヘシ撰奉ノ投票ヲナシ可否ヲ決議其他  
ノ証書ニモ悉ク記名檢印スヘキ事

議負

第十七條 議負ハ各自ノ裁量ヲ以テ時々集會ヲ遷延ス  
ルヲアリ若シ延會セサルキハ社友ヲ撰奉スル為メ及ヒ  
會社ノ事務ヲ管理スル為メ毎月第一ノ水曜日ノ第十一時  
ニ於テ集會シ又特別ノ命令アルニ非レハ集會時限ノ間  
毎月尚一度他ノ水曜日ニ於テ集會スルヲトス

第十八條 集會時限ニアラサル時本社ノ事務ニ関シ臨  
時集會ヲ要スルヲアレハ総長ノ思慮ニ隨ヒ集會ノ時日  
場所等ヲ決定シ其報告ヲ通シ議負ヲ會議セシムルハ総  
長ノ全權トス尚止ムヲ得サル事故アルキハ臨時ニ即刻  
會議ヲ發令スルモ総長ノ權利トス去レ凡斯ノ如キ會議

ニ於テ散立セシ法則等ハ其次ノ例月會ニ於テ確定スル  
ニ非レハ持久スル法例ト為スヘカラス總長不在ノ時急  
變ノ時機ニ當リ會議ヲ呼催スルハ受托者一名副總長一  
名議負三名ノ權利ニシテ各自檢印シタル呼集ノ命令書  
ヲ書記官ニ送呈シ而シテ發令セシ日ヨリ此急會ノ為メ  
決定シタル日限マテニ七日以上ノ於豫ヲ措置スヘキ事  
第十九條 議負例月會ニ於テハ本社ノ事業ニ係リ討論  
スヘキ議案等ハ總テ手ノ頭出ニ由テ裁論決議スルヲ此  
會議ノ全權トス去レ凡其時列坐セシ社友ノ内此議案ノ  
緊要ナルヲ察知シ即時ノ裁決ヲ忌憚スル者アレハ其意  
見ヲ陳說シ次ノ例月會議ニ於テ空シク再議スル為メ延  
期スルノ可ナルヲ議負ト商議スルハ自由タルヘシ而シ  
テ議負中此說ニ同意スル者三分ノ一十九キハ議案ノ裁

決ヲ延期スルトシ其趣書記官ヨリ議員総員ニ告知ス可シ

第二十條 議員ノ會議中管理スル所業ハ書記官之ヲ畧記ス可シ若シ書記官不在ノ時ハ議長ヨリ臨時ニ任シタル列坐ノ社友之ヲ記録ス可シ其後此手記簿ニ瞭然ト抄寫シ尔後ノ準備トナスヘキ事

第二十一條 議員ハ集會ノ事業ヲ整理スル為メ方術ト察見スルトアレハ准許状及内則ニ照準シ時々其法度ヲ整理スヘシ蓋シ斯クノ如キ法度ハ同列ヲ抑制スル者ニテ他ニ関涉スルトナシ

第二十二條 本社ノ管轄ヲ擔任シ百般ノ事務ヲ整理スルハ議員ノ特任ナレハ議員ノ抑制ヲ受クルハ准許状及内則ニ由テカ又ハ大集會ニ會合シタル主宰社友ノ決議ニ

由テ関涉セララル、ノ外他ノ限制ヲ受ケサルモノトス  
第二十三條 本社ノ管轄ヲ良善ニシ百般ノ事務ヲ適宜ニ整理スル為メ裨益ナルトアレハ准許状ト内則ニ照準シ時々法度ヲ制定シ又命令ヲ發出スルハ議員ノ任タルヘシ而シテ斯ノ如キ法度命令ハ主宰社友有名社友他國社友通信社友及本社ノ諸官役平等ヲ悉ク抑制スル者ナリ  
第二十四條 本社ノ事業ニ關シ臨時ノ事アルキハ議員ヨリコンニツキヲ命シ之ヲ検査セシメ議員ニ報告セシムルコトアリ而シテ時宜ニ應シ此會議ヲ散會セシムルモ議員ノ權利トス

第二十五條 農業ヲ進歩セシメ本社ノ裨益ヲ興起スル為メ最善ノ方法アルキハ本社所屬ノ抄本類画圖又ハ模形ヲ他ノ所有物ト交易シ又ハ賣却スルモ議員ノ自由タル

キ事

第廿六條 本社ノ日誌ハ他ノ農業會社學術會社又ハ政  
府諸省ノ長官マテ送呈スヘキ事

第廿七條 議負ハ自ラ主管シタル大集會ノ議定ヲ勉テ  
事實ニ施行スヘキ事

第廿八條 議負ハ時宜ニ應シ金銀管理司ヲ任シ社用ニ  
就キ書記官又ハ他ノ者ノ領取シタル金銀ノ總額ヲ委託  
スヘキ事

第廿九條 會社ノ金銀管理司ハ議負ノ命令アルカ又ハ  
集會ニ於テ議長受托者及書記官ノ檢印シタル券書ニ由

ラサレハ金銀ヲ出納スヘカラス蓋シ出納アルカハ逐件  
簿冊ニ詳記シ尔後ニ准備スヘキ事

第三十條 議負ノ命令ヲ變更スルハ一个月以前ヨリ瞭  
然タル報知ヲ以テ議負各名ニ申告スルニ非レハ變更サ  
レザルモノトス

第三十一條 諸官ノ内關位アルカ書記官ヨリ議員ニ  
報知シ而シテ其事ノ起リシ後集會スル議負會議ノ節受  
托者副總長又議負等連名ノ書付ヲ以テ公達スヘシ其後

撰舉司ヨリ適當ノ人物ヲ薦舉シ議負ニ告知ス議負ハ之  
ヲ領知シ例月會ニ於テ熟議シ而シテ後關ヲ補スヘキ事

第三十二條 總長不在ノ時ハ受托者又ハ副總長代理議  
長タルヘシ若シ是等ノ官負各不在ノ時ハ投票撰舉ヲ以  
テ議負ノ列ヨリ一人ヲ撰擢シ代理セシムヘキ事

第三十三條 例月會又ハ臨時會議ノ定數ハ五名タルヘ  
シ

第三十四條 議負例月會ニ於テハ常ニ其以前ノ例月會

又ハ中間ニ催シタル會議ノ草案ヲ稟先ニ讀述シ續テ延  
期セシ事業ヲ評議スルヲ以テ順序トス去レ氏會計幹事  
ヨリ報告アル片ハ此例ニアラス

會計幹事ノ報告ハ會議ノ草案ヲ讀述シ社友撰舉入社願  
等ヲ議定シ歟ル後ハ直ニ商議スルヲ常例トス

第三十五條 會議ニ於テ讀述スル草案報告ノ類ハ悉ク  
議長ノ檢印ヲ為スヘキ事

第三十六條 本社ノ社印ハ一個ニシテ各異セル鎖鑰三  
ツ附著スル箱ニ藏メ置キ其鍵三ツハ總長會計幹事ノ長

官及書記官カ各自ニ所持スルモノナリ三職立會ニ非レハ社印ハ出入ヲ

禁スル為メ  
社印ハ會計ノ間議院ニ於テ押印スルヲ法トス其他ハ前  
文ノ諸官ヨリ特別ノ命令アルニ非レハ如何ナル約書ニ

此會計ノ會後ノ誤記本ノ

モ押スヘカラサル事

第三十七條 五月及十二月中龍動ニ於テ興行スル大集  
會ニ議負ヨリ進呈スル報告ハ兩月中稟初ノ議負會議ニ

於テカ又ハ延會ノ日ニ於テ集成スヘキ事

第三十八條 本社ノ准許狀貸家券書記官ノ抵當証書其  
他切要ナル証書ハ社中ノ金銀管理司ニ委任シ保守セシ

メタル一個ノ箱ニ藏メ置キ而シテ此箱ハ議長受托者及  
書記官ノ連印シタル命令書ヲクシテ他人ニ交付サレザ  
ルモノトス

コソニミツチー特任議負

第三十九條 ススタレツシクコソニミツチール特任會議負ハ

十二月中例月會ニ於テ任職シ一月一日ヨリ職掌ノ諸務  
ヲ奉シ尚再任ヲ受クルニ非レハ翌年十二月三十一日ヲ

限リ轉任ハル者トス其外ニモ例月會ニ於テ、コンミツチ  
ノヲ命スルコトアリ

第四十條 各ノコンミツチハ其癸會ノ節本年中奉職  
ムヘキ長官ヲ公撰ス其長官ハコンミツチニ列席セシ

キ常ニ議長タルヘシ此議長不在ノ時ハ其時ニ當リ同列  
ヨリ撰舉シ代理セシムヘキ事

コンミツチハ総テ各々ノ議長又ハ総長或ハコンミツ  
チノ同列三名ノ指揮ニ由テ發令シタル召集ニ應シ集會

スルカ否ラサレハ延期ノ緣故ヲ以テ集會スルモノトス  
總長受托者及副總長ハ各自ノ官職ヲ務メサルキハコン

ミツチノ同列トモナルヘキ事

第四十一條 コンミツチハ總テ集會ノ間處置スル事  
務ヲ連々記録シ之ヲ議負例月會ニ報告シ尚格別ノ報知

ヲ總テ配達スルマテハ散會セサル者トスサレモ十二月  
三十一日ニ至テハ假令報告ヲ成及セサルトモ其職ノ權  
利ヲ失フモノトス

書記官

第四十二條 書記官ハ本社ノ事務ニ己レノ身ヲ委託シ  
議負ヨリ要セラレタル諸様ノ職掌ヲ奉行シ議負ヨリ直  
チニ督責ヲ受クルモノトス

書記官ハ議負集會ニハ悉ク出頭スヘシ并議負會ニ出頭  
セサルトキコンミツチヨリ列席ヲ要スルコトアレハ尚又之

ニモ出頭セサルヘカラス

書記官ハ會議ノ要件ヲ略記シ并コンミツチニ列席セ  
シ其議長ヨリ請求サレシナラハ尚其席ニ於テモ略記  
ヲ為スヘキ事

第四十三條 書記官ハ本社ノ通信應當ヲ管掌シ領取セ  
シ書翰ハ次序分類ヲ正シテ蓄ヘ置キ應答日誌ヲ設ケ置  
キ日々ノ往復ヲ誌シ并ニ書翰控簿ヲ備ヘ置キ総長議負  
又ハゴシニツチノ指揮ヲ受ケ書記シタル書翰ノ草稿  
ヲ悉ク寫シ置クヘキ事

第四十四條 書記官ハ會計幹事ノ指揮ヲ受ケ本社ノ諸  
局ニ於テ領取シタル総金銀ニ關係シ督責ヲ受クルト雖  
モ其総額ハ金銀管理司ノ手ニ納メ其収票ハ會計幹事ノ  
集會ノ度毎ニ呈出スヘシ蓋シ斯ノ如クシテ本社所屬ノ  
金銀ハ自ラ預ルルナク即時ニ金銀管理司ニ回送スル者  
トス去レ氏自ラ許可ヲ得タル少額ノ金銀雜費ハ書記官  
ノ擔當スル所トス

第四十五條 本社ノ為メ領取シタル金銀ノ収票ハ悉ク

収票控帖ニ添ヘ符合ヲ付ケ置クヘキ事

第四十六條 金銀出納ハ總テ出納簿ニ日々注録スヘキ  
事

第四十七條 本社附屬ノ書物模形及新聞紙ハ總テ書記  
官ノ保守スルモノトス

本社ニ贈呈サレタル書物小本綴ラサル者ヲ云等ハ總テ即時ニ  
本社ノ社印ヲ押スヘシ

第四十八條 書記官ハ本社ノ書吏役卒等ヲ自ラ管理シ若  
シ是等ノ者社則ヲ犯シ或ハ不行狀等ノ事アリテ議負ノ  
商議ヲ要セサルヲ得サルトアレハ其趣議負ニ申告セサ  
ル可カラス

第四十九條 総長及議負ハ准許狀ニ照準シテ本社ノ諸  
務ヲ代辦シ條約ノ事務ヲ管理スル權利ヲ有スルトモ

其惣代タル書記官ニ専ラ依頼スル者ニテ書記官ハ其レ  
 等ノ種々ノ事務ニ關係シ代理人トシテ時々委託サレタ  
 ル特別ノ免許ニ準シ悉ク之ヲ擔当スルモノナリ  
 第五十條 書記官ハ會社ノ官舎ニ寄笛スヘキ事  
 第五十一條 書記官ハ總計一千磅ノ確乎タル抵當物ヲ  
 所持スヘキ事  
 第五十二條 本社ノ諸室ハ不用ノ時ト雖モ轉貸サレザ  
 ル事  
 第五十三條 書記官ハ會社ノ主宰又ハ社友ニ非サル事  
 第五十四條 書吏役卒ノ給料ヲ定メ又ハ時宜ニ應ジ  
 是等ノモノヲ黜陟轉任スル等ハ議負ノ權利タルヘキ  
 事

會計課

第五十五條 會計幹事ハ會社ノ算計ヲ自ラ監督シ金銀  
 諸拂ハ例月會ノ外ハ右幹事ノ告書ナキハ一切ナスヘ  
 カラサル者トス蓋シ會計幹事ハ本社財本ノ情狀ニ關係  
 シ報告書ヲ完備スルタメ議負ノ集會ヨリ以前ニ毎月呼  
 集ノ指令ナクハ第一ノ水曜日ニ集會スルヲ常例トス其  
 報告書ニハ次ノ結算較計表ヲ添ヘ進呈スヘキ事

邊斯	時	月	金
磅	令		
<p>會計課                  銀行管理司及書記                  在之                  金</p>			

銀 結 算 表

邊 時 令 新

手 金 手 金  
記 簿 先 月 中 金 手 金

手 金 手 金  
理 司 在 手 金

手 金 手 金  
理 司 及 手 金  
記 簿 先 月 中 金 手 金  
及 手 金 手 金  
手 金 手 金

手 金 手 金  
理 司 及 手 金  
手 金 手 金  
手 金 手 金

尚又會計幹事ノ集會スルハ總テノ金銀出納簿及日々取  
引スル証書類ヲ始メ諸費出金ノ書記ヲ完備スル為メ集  
會スル者トス

毎月康初ノ水曜日ニ於テ會計幹事ノ定負集合セサルハ  
ハ書記官ヨリ本社財本ノ情状ヲ議負ニ報告スヘキ事

第五十六條 毎年兩度社屬金銀算計ノ惣檢査且ツナシ結  
算表ヲ作り之ヲ大集會ニ差出スヘシ而シテ此結算表ハ  
日誌ニ連續シテ出板セシムヘキ事但シ此總檢査ハ龍動  
大集會ノ前週金曜日ヨリ遅延ナスヘカラス  
檢査官トナリ算計ヲ檢査スル者ハ總長受托者會計幹事  
及議負ニ昇進セサル社友三名ト或ハゴコンニツチノ内  
少クモ二名列席シテ整正スルヲ常例トス  
毎年ノ郊村集會ニ就キ集成シタル結算表ハ翌年刊行ス  
ル會社ノ日誌ノ第一ノ出板ニ於テ著スヘキ事

日誌課

第五十七條 日誌課幹事ハ日誌ノ出板ヲ監督シ毎年二  
月八月ト兩度ニ分部ヲ出板セシムヘキ事  
日誌課幹事ハ新聞紙工ニ載記スヘキ事實ヲ裁断シ尚日



誌上ニハ不都合ナレ其事實ニ於テハ項要ニシテ感ス  
ヘキ報告アレハ之ヲ斟酌シ排列ヲ整ヘ日誌ニ連続シテ  
出版セシムヘキ事

日誌課幹事ハ新聞紙工ニ載記シタル趣意ヲ撰擇スル  
ニ就キ又ハ勸農ノ目途ニ関涉シタル要件ニ就キ督責ヲ  
受クルト雖モ諸種ノ新聞紙ニ著シタル詳細ノ事情ニ就  
テハ著作者ノ意見注目ニ關係スルナレハ豫メ幹事ノ  
擔当スル所ニアラサレ事

第五十八條 社友ノ面々ハ各寄進金ヲ指納セシ工ハ具  
年内ノ日誌類ハ代價ヲ納ムルナク領取スヘキ通義ア  
リトス去レ氏収納金遲滞セシキハ決シテ配達サレザル  
者トス

著作者

第五十九條 著作者ハ日誌課幹事ノ管轄ヲ受ケ時々幹  
事ノ制立スル法度ニ服從シ其職掌ヲ奉スヘキ事

第六十條 著作者ハ學識才能ニ由リ補任スル者ナレハ  
日誌課幹事ノ委託スル所更ニ其意ニ適セサルナク信  
任ヲ得テ職掌ヲ奉スルニ堪ユヘキ人才ヲ撰ムヘキ事

第六十一條 著作者ノ奉職スル時間ハ完ク本社ノ指揮  
ニ從フヘキ事

賞典表

第六十二條 郊村集會ニ付キ公告スル賞典表ハ十二月  
中興行スル臨時議負會議ニ於テ決定スヘキ事

競賞經驗文

第六十三條 競賞經驗文ニ記載スル報告ハ悉ク實驗注  
目ニ據ルヘキハ勿論ナレハ書籍其他書付類ニ目テ陳說

スルヲアレハ決シテ採用セサル者トス

第六十四條 繪圖見本模形等ヲ要スル告書ニハ具申シタル尺度ニ比例シ其模形ヲ作り或ハ詳画シタル繪圖ヲ添ハ差出スヘキ事

第六十五條 爭先者ハ告書ノ表包ノ内ニ姓名住所ヲ封入シ其表面ニハ經驗文ノ題目及主意并本社ニ差出セシテ賞典目錄ニ書キ加ヘタル番号ヲ書記スルノミトス

第六十六條 賞典ノ裁決サレタル經驗文ナルヲ題目ニ表シタル經驗文ノ表包ヲ開封シ其記者ノ姓名ヲ公告スルハ総長ニ期スヘキ事

第六十七條 賞典ヲ受ケサル經驗文ニシテ本社ノ本業ニ関リ實ニ緊要ト思察スル者アレハ之ヲ開封スルノ權利ハ日誌課長官ニ期スヘシ蓋シ右書付テ日誌課ニ委託

スル氏更ニ異存ナキヤハ確然本人ニ商量ス可シ

第六十八條 賞典ヲ給與シタル經驗文ノ開版免許ハ本社ノ主管スル所ナレハ其經驗文ノ全部又ハ一部ヲ刊行スルハ本社ノ自由タルヘシ而シテ其他ノ經驗文ハ記者ノ請求ニ任セ返却スルト雖モ紛失等アルハ本社ニ於テ關係セサル者トス

第六十九條 審官牧畜ヲ審檢シ其方ハ經驗文ヲ審檢シ正ニ賞典セサルヲ得サル者ト思察スルニ非レハ賞典ヲ裁斷スヘキ者ニアラス

經驗ノ報告ニハ惣テ實驗ニ就キ費シタル經費ヲ精密ニ詳記スヘキ事

算計ニ用ユル尺度秤量ハ本國法度ニヨリ定メラレタル度量ニ限ルヘキ事

既ニ著述工ニ見ヘタル事實ヲ經驗文ニ書載スルハ賞  
典ヲ給ヒサレ事

賞典ハ本人ノ希望ニ任セ金銀或ハ品物ニ於テ給與スヘ  
キ事

經驗文ハ總テ本社ノ官社ニ於テ書記官ニ面陳シ差出ス  
ヘキ事

書庫

第七十條 當會社ニハ書庫一個所ヲ設ケ書目ヲ備ヘ置  
クヘキ事

書物類ヲ献納スル者アレハ總テ日誌課幹事ノ裁判ヲ受  
ケ處置スヘキ事

獻納書籍ハ勿論其他種物器具及模形類ニ至ルマテ受納  
シタル物品ハ悉ク簿帖ニ詳記シ獻納人ノ姓名ヲ記シ置

シヘキ事

第七十一條 模形器具其外トモ議負ノ許可ヲ得サレハ  
本社ニ出品スルヲ許サス

郊村集會

第七十二條 議負ハ郊村集會ニ就テ本社ノ總趣意ヲ興  
隆スル為メ裨益ト意見スルヲアレハ前年施行セシ齊備  
ニ關係スルヲナク別ニ方法ヲ修整シ其レヲ採用スルヲ  
アルヘシ

第七十三條 人民ノ功勞ヲ賞シ天災ノ損耗ヲ補給スル  
等總テノ賠償ハ地方官ノ擔當スル所ニシテ英倫農業會

社ノ議院ニ於テハ決シテ關係セサルトス但シ此事實  
ハ地方官ト契約スル條約中ニ必ス書キ載スヘキ事

第七十四條 地方官ト契約スル條約ニハ地方廳ノ官印

ヲ受クヘキ事若シ地方廳アラサル場所ナレハ其地方主  
長ノ花押ヲ受クヘキ事

第七十五條 詐偽ノ証據ヲ出シ或ハ他ノ詭謀ニヨリ褒  
美ヲ受ケント欲シ其企露顯セシニ由テ如何ナル會社ノ  
博覽所ニ於テモ竟賞ノ為メ出品スルヲ禁セラレタル者  
等總テ議負ノ意思ニ適セサル者ハ当社ノ集會ニ於テモ  
其褒賞ヲ竟争スルヲ許サス

内則

第七十六條 五月及十二月ノ第一ノ水曜日ニ於テ集會  
スル議負會議ノ節ニアラサレハ現今ノ内則ヲ変更シ尚  
新例ヲ制定スヘカラサル者トス蓋シ一ヶ月前ヨリ兼テ  
議負ニ報告ヲナシ其報告ノ原稿ヲ書記官ヨリ議負各名  
ニ送達スヘキトサレ氏改正スヘキ内則ヲ議案トナシ公

議スル時ニ方リ之ヲ改正スレハ他ノ内則ニ関涉シ妨碍  
アル片ハ變更セサル者トス

第七十七條 内則ハ悉ク簿帖ニ記録シ總長及書記官ノ  
花押ヲ檢シ新タニ内則ヲ制定シ或ハ變更セシ事アレハ  
即時ニ書キ加フヘキ事

右ハ千八百六十九年十二月八日ニ於テ集會セル公議ニ  
於テ議定スル者ナリ

總長 デボンシアール花押

書記官 エチエム、シエシキス花押

第三篇 會議ノ議定

大集會

第一條 翌年奉職スヘキ諸官ノ闕位ヲ充備スル為メ議  
負ヨリ建議シタル薦舉ヲナシテ不適宜ト思慮スル者ア  
レハ其闕位ヲ補フ為メ自ラ他ノ主宰社友ヲ撰舉シ大集  
會ニ建議スルハ随意タルヘシ蓋シ少クモ三日前ヨリ其  
意見ヲ書記官ニ報告セサルヘカラス

書記官ハ其時建議サレタル社友ノ姓名ト議負ヨリ建議  
シタル人々ノ姓名ヲ並列シ之ヲ大集會ノ後マテ議院中  
著明ナル場所ニ於テ揭示スヘキ事

第二條 大集會ヲ招集スル布告ニハ集會手簿中ノ人名  
等重立チタル事ヲ告知スヘキ事

五月ノ集會ノ布告ニハ総長受托者副総長及議負廿五名

ヲ主宰及社友ヨリ撰舉スヘキ趣殊更ニ公告スヘキ事  
総長

第三條 大集會ニ進呈スル告書ヲ集成スル為メ五月中  
集會スル第一ノ議負會ニ於テカ又ハ其延會ノ日ニ於テ  
撰舉課幹事ヨリ翌年奉職スル総長撰擢ノ引薦ヲ議負ニ  
陳説シ議負之ヲ熟議スヘキ事

議負

第四條 議負ハ同列中ニ闕位アル氏ハ其々補備スル為  
メ自ラ薦舉セント欲スル主管及社友ノ名ヲ奉ケ年々議  
負ニ付与スヘキ撰舉姓名書ノ出版ヨリ以前ノ水曜日ニ  
於テ書記官マテ進達スヘキヲ蓋シ薦舉セシムルハ若シ  
撰擢ニ與カルコトアレハ其職ヲ奉シ集會ニ列席スルヲ忌  
憚セサルハ縁メ証シ置クヘキ事

書記官ハ通常ノ姓名書ニ此建議サレタル姓名ヲ書キ載  
セ建議者ノ姓名ヲ註誌スヘシ而シテ即今順番ニテ退職  
シ再撰ニ與カルル妨碍ナキ人々ガ従前議負會議又ハコ  
ンミツチニ臨席シタル度数ヲ詳記スヘキ事

第五條 書記官ハ五月十二月ノ議負會ニ就キ刊行シタ  
ル「アケンダ」我邦罰紙ノ如ク會社ノ名号其他ニ  
要件ヲ刊行シタル罰紙ハ例式ノ抄寫シ議負各名ニ送達スヘキ事

第六條 年々ノコンミツチノ官ハ其奉職セシ年内ニ於  
テ集會シタル度数及議負ニ進呈シタル報告ノ度数ヲ詳  
記シ年報トシテ十二月中議負例月會ニ呈スヘキ事

第七條 コンミツチノ官ノ年報ニハ在職各名ノ目錄ヲ  
記載シ且翌年モ薦舉ニ相当スル趣建言サレタル人々ノ  
姓名ヲ點記スヘシ但シ本年全ク不参シタル面々ハ省畧

スヘキ事

會計課

第八條 會計課ハ半年毎ニ受領シタル合集指納ノ額數ヲ調査シ報告スヘキ事

第九條 會計幹事ハ本課ノ精算司ヲ任シ置キ會社ノ算計ヲ精細ニ検査セシメ須要ナル条件ヲ報告セシムヘキ事

第十條 會計幹事ハ本社會計ノ情状ヲ調査セシメ左ノ如ク詳細區別シ報告セシムヘキ事

第一 毎三月ノ金銀出納結算表

第二 毎三月ノ所有物ノ調書

第三 寄進金及寄賦残リノ調書

第十一條 前条ノ算計ハ三月六月九月十二月ノ月末ニ

於テ精算輯録シ翌月ノ例月會ノ節議負ニ差出スヘキ事

第十二條 本社ヨリ出金スヘキ金銀費用ヲ含有スル建議ハ一ヶ月前ヨリ報告セサレハ假令異論ヲ陳スル氏議負ニ據テ領取サレザル者トス但シ會計幹事ヨリ常例ノ

報告ニ因テ指令シタル出金ハ例外トスヘシ

第十三條 會計幹事ハ本社ノ歳入出費等ヲ精細輯録シ十二月中集會スル議負ニ特別ノ報告ヲ為シ之ニ由テ議

負ニカヲ副ヘ翌年郊村集會ノ節授与スル賞典ノ總額ヲ最大ノ數ニ決議セシムル事

日誌課

第十四條 郊村集會ニ出品シタル器具類ノ報告ハ日誌

ニ記載シ二月八月ト兩度ニ出版セシムヘキ事

報告ノ規則 第一郊村集會ノ報告

第十五條 郊村集會ニ於テ議負ノ談論スル所ハ報告スルヲ要セスト雖モ書記官ハ執行シタル事業ヲ註記シ又ハ會議中投票セシ可否ノ眾寡等ヲ記録スヘキ事

第十六條 書記官ハ輕便ニ記録スル為メ書吏一人ヲ命ジテ輔佐ヲ為サシメ而シテ自身ハ商議中ノ事務ニ完ク心ヲ委ネヘキ事

第十七條 建議改正ノ申請ハ書面ニ註記シ建議者ノ檢印アルニ非レハ議負ニ工言スヘカラサル事

### 第二 例月會議ノ報告

第十八條 書記官ハ癸會以來決議セシ議定ヲ悉ク編輯シ建議ノ類ニハ番号ヲ付ケ可否ノ裁決ヲ詳説シ議長ノ用ヒタル議論ノ格別ナル者ヲ記載シ勉テ速ニ刊行スル為メ報告ノ草案ヲ集成スヘキ事

第十九條 コンミツチノ官ヨリ議負ニ送呈シタル報告ハ悉ク其要ヲ略シ出版スヘシ蓋シ議負ヨリ格別ノ命令アルキハ其指揮ニ應スヘキ事

第二十條 化學商量司ハ本社ノ社友ヨリ送ラレタル肥料ノ見本類及牧畜ノ食物殊ニ鳥糞硝酸曹達細末骨及亞麻仁ノ油滓等ヲ詳檢シテ報告ヲ集成シ三月六月及十二月ノ例月會ニ呈スヘキヲ而シテ此報告書ニハ分析セシ物質ヲ供給セシ商人ノ姓名ヲ記載シ議負ノ指揮ニ應シ農業日誌ニ於テ出版スヘキ事

### 第三 中間會議

第二十一條 書記官ハ中間會議ノ事業ヲ編纂シ收會ノ後ハ勉テ速ニ新聞紙ニ出スヘキ事

此報告ノ要畧ハ畧記簿ニ記録シ置ク可キ事



議負ニ進達シタル書面ノ内格外ニ長文ノ者ニテ早急處  
置シ難キ者アレハ之ヲ著作者ニ送り次ノ例月會ノ節呈  
上セシムヘキ事

### 郊村集會

第二十二條 年々興行スル郊村集會ノ場所ハ議負ノ考  
定スル都府及其地位ニシテコンニツチ官ノ點視ヲ得  
テ能ク詳檢シ本社ノ目途ニ関シ各別ニ相應スヘキヲ檢  
考シ之ヲ報知セシ後ニ非レハ裁決セサル者トス但シ此  
ツチ官ニハ以前ノ集會ノ節場所掛リ  
ヲ勤メシ者少クモ三名ヲ列席ヒシム  
郊村集會ヲ設クヘキ都府市街等ヲ議定セシト雖モ器具  
掛リ管事又ハ議員ヨリ任セラレタル檢官ノ點視ヲ經地  
形ヲ檢考シ器具經驗ニ就キ用ユヘキ空地ヲ撰定シ詳細  
ニ檢察セシ後ニ非レハ常例ノ條約ハ決定サレサル者ト

ス

五月ノ集會ニ付キ場所ヲ決議スルハ郊村集會ニ付キ治  
定シタル前條ノ規則ニ準シ施行スヘキ事

第二十三條 郊村集會ニ於テハ縱觀所出入口ニ於テ金  
銀出納ヲ整正セシムル為メ少クモ四名ノ管賬官ヲ任ス  
ヘキ事其職掌ハ紙牌簿ヲ時々點檢シ又金箱ヨリ出シタ  
ル金銀ト簿冊工ノ惣額ト符合スルヲ調査シ而シテ檢査  
セシ時ハ檢數表ニ其略標ヲ徴シ簿冊工ノ總計ニ於テ過  
不足ノ有無ヲ區別シ置クヘキ事

第二十四條 当社ノ郊村集會ノ節ハ各局ニ就キ三名ノ  
執事ヲ置クヘキ事即チ器具局執事三名蓄産局執事三名  
トス其内一名宛年々歳末ニ至リ退職セシメ亞職者ヲ任  
スヘシ蓋シ斯ノ如クシテ其職ニ練熟シタル者兩名ヲシ

テ三年宛奉職セシムヘキ事

第二十五條 郊村集會ノ節審官ノ裁断ニ對シ異論ヲ陳スル者アレハ終會前ニ於テ悉ク裁判スルヲ勉勵スルハ執事ノ擔当スル所トス

右ノ如キ異存ノ申請ハ縱覽開キノ期限中木曜日ノ夕第六時迄ニ縱覽所構内執事公所ニ申出ヘキ事其期限後ニ至テハ遅延ニ就キ至当ナル託辞アルニ非レハ如何ナル申請モ採用サレサル者トス

第二十六條 器具動物ノ出品者ノ内本社ノ法度ニ背キ又ハ執事ノ指揮ニ服従セサルコトアレハ其出品ヲシテ場所外ニ出サシムルハ執事ノ權利ナリトス

第二十七條 本年ノ寄進金ヲ收納セサル者ハ社外ノ者トシ郊村集會ニ出入シ又出品スヘキ權利ナシトス

第二十八條 本社ノ主宰又社友ニシテ本年ノ寄進金ヲ收納セシ者ハ縱覽開場ノ間縱覽所出入ハ出金ハルニ及ハス書記官ヨリ出サレタル紙牌ニ依テ出入スヘシ但シ其紙牌ハ譲与貸授等ナスヘカラス若シ其紙牌ヲ讓貸セシテ露頭スルコトハ之ヲ議負ニ報知シ尔後社友タル特權ヲ失ハシムヘキ事

第二十九條 社友ハ各自請受ケタル紙牌ノ裏面ニ社友タル驗証ヲ記シ姓名住所ヲ表シ置クヘシ尚縱覽所出入ノ節社友出入口ニ於テ關門控簿ニ各自記名スヘク請求サレシナラハ尚其レニ記名スヘキ事

第三十條 社友ノ紙牌ヲ請受ル者ハ縱覽開キノ前週金曜日マテニ龍動ニテ申請スヘシ蓋シ郵便ニ依テ申送ルモ又自身ニ申出ルモ随意ナリト雖モ其時日後ニ至テハ

縦覽所構内書記官公所ニ申出ヘキ事

第三十一條 有名ノ人ヨリ縦覽所來觀ヲ申請セシキハ其趣議負各名ニ報知スヘキ事

第三十二條 若シ出品者が夜間種馬ヲ搬出シ展觀ノ間連日携歸ラサルヲアラハ其本人ニ五磅ノ罰金ヲ課シ本社ニ收納セシムルハ執事ノ權利トス

第三十三條 執事器具審官機軸商量司同輔官且獣医検査官同輔官ハ郊村集會ノ間會社ノ費用ニ依テ設ケラレタル客舎ニ寄留スヘキヲ去レ其蓄産審官ハ諸雜用トシテハ磅客舎料トシテ二磅ノ金ヲ受領スヘキ事

議負ノ列ニシテ審官ヲ兼ネシ者ハ議負ノ評議ヲ經一個月ノ告示ヲナシ然レ後他ノ審官ノ如ク諸費ヲ領取スヘシ

郷宴

第三十四條 爾後郊村集會ニ於テ會社ノ助カヲ受ケ郷宴ヲ設クルヲアレハ地方幹事ニ任シ全ク管理セシム去レ其議負ハ己ノ意思ニ隨ヒ紙牌ノ數ヲ取除ケ之ヲ受領スヘキ權利アリトス而シテ會社ヨリハ郷宴ノ長官ヲ任シ受賀人<sup>郷宴ニ列スル者</sup>ノ目錄ヲ供スルノミニシテ他ニ關係スルコトナキトス

審官

第三十五條 社友ニシテ審官ヲ薦舉スル者ハ其舉名セシ人ハ如何ナル職務ニ任セラレ、其更ニ不都合ナク審官トナリ奉職スヘキ適宜ノ人物ニシテ其職ヲ務ムルヲ希望スル者ナルヲ兼テ自ラ了知シ其趣保証セサルヘカラス并蓄産出品人又ハ器具製造人ト連合同意スルコト

ナキ趣或ハ如何ナル動物ヲ審断スルハ其蓄産ニ因テ自  
身ニ利益割合等ヲ受クルヲナキヲ確然保証スヘキ事  
右ノ如ク薦舉シタル姓名書ニハ撰舉人ノ姓名ヲ記記シ  
審官撰舉司ニ差出スヘシ蓋シ前年縦觀所執事ヲ勤メシ  
者ハ此撰舉司ノ同列トナルヘキ事  
審官撰舉ニ就キ建議サレタル人負不足ノ片ハ撰舉司ノ  
知己ニシテ其職ニ相當シ其職務ヲ希望スル人物アレハ  
撰舉司自ラ其人ヲ推舉シ其姓名ヲ加ハスヘキ事  
第三十六條 四月ノ第一周ノ間ニ議負ノ面々ハ轉章ヲ  
回送シ蓄産審官トシテ奉職スヘキ適當ノ人物ニシテ其  
職務ヲ望ム者アレハ其人物ヲ推舉セシメ而シテ本社ノ  
社友ヨリ薦舉シタル姓名書ニ増加スル為メ五月中ノ例  
月會以前ニ書記官マテ申告セシムヘキ事

第三十七條 審官トシテ薦舉サレタル人々ノ姓名書ハ  
議院ニ張出シ置キ右寫書ハ撰舉ヲ施行スル二週日以前  
ニ議負ノ面々ニ送達スヘキ事  
社友ノ内此姓名書ニ関リ異說情願等アルキハ其趣審官  
撰舉司ニ申告スル為メ書記官マテ書面ニ依テ申請スル  
ハ自由タルヘシ

### 審官ノ報告

第三十八條 書法ノ精密ナラサル又ハ抄録者ノ過失  
ヲ校正スルハ著作人ノ擔任タルヘキ事

第三十九條 機械商量司ハ機械ノ鮮明シニ関シ又ハ器  
具運轉ノ記録ニ付キ誤謬アルキハ之ヲ校正セサルヘカ  
ラス去レ氏前各諸官ニ關係セサル者ニテ器具審官ノ報  
告ニ就キ變更スルヲアレハ悉ク器具執事代理長官及日

誌課幹事長官ノ擔任スル所ナレハ其許諾ナキ氏ハ更ニ  
升レサル者トス

賞典表及審官ノ裁判

第四十條 郊村集會ニ於テ供給スル賞典ハ年々二月中

第一ノ水曜日マテニ決議シ其後ニ至テハ評議セサル者

トス

第四十一條 審官ハ取除クヘキ家畜アルキハ其各種ニ

取除ケノ番号ヲ附ケ置キ而シテ取除キヲ知告スル為メ

褒賞及薦奉ノ紙牌ヲ張り出ス如ク同シ方法ニ依テ其牛

室ニモ紙牌ヲ張り附ケヘキ事

附録 第一号雛形

私儀何々國何何住居ノ者ニ候處英倫農業會社ノ社友ト

相成申度希望罷在候若撰奉相成候上ハ年々一磅宛寄進

金収納致ヘクカ又ハ合集捐納トシテ十磅ヲ出金致スヘ

クハ勿論書記官マテ告書ヲ呈シ退社致シ候年尾マデハ

御社中ノ御規則法度等堅ク相守リ申ヘク候ナリ

月 日

願人 姓名 印

議長 何某殿

書記官 何某殿

附録 第二号雛形

第二月二日即チ水曜日ニ集會シタル例月會ニ於テ御自

分儀何某ノ申請ノ上英倫農業會社ノ何々官トシテ撰奉

相成候条御報知申度尚何々ノ官名ニ依テ御姓名ヲ簿冊ニ書入候ニ付以後本社ト御文通有之節又ハ銀行ニヨツテ寄進金ヲ御送り相成候節モ御姓名ニ右官名ヲ御書加ヘ有之度夫ニ就テ社中ヲ區別シ看出シト致シ申ヘク候尚都テ公ノ書面ニハ御自分御花押ニ右官名ヲ御附加ヘ有之度候之ニ依テ一ヶ年ノ寄進金一匁カ又合集指納十匁ノ寄進ヲ御送金ノ上ハ当社ノ社友ト号シ准許状及内則ニ由テ確立セシ特權ヲ有スル者ト致シ可申候本社ノ規則上ニ於テ入社セシ年ノ寄進金ハ撰奉ノ節直クニ出金スルトシ其後ハ年々一月一日ニ御收納ノトス尤退社御望ニ候トモ其趣書付ヲ以テ當職マテ御報知有之候上其時御收納金残り居候節ハ悉ク御拂濟相成候マテハ御寄進可有之事トス

且又日誌類ハ寄進金御收納濟ニ無之テハ御届不申事トハ尤当今寄進金御收納ノ上御領取相成候日誌ハ何月ニ於テ出版セシ者ニ御坐候尚御自分御任遷ノ義ニ付御異論有之候カ又ハ此書翰ニ付御所存モ御坐候ハ、御指示有之度候ナリ

月日

書記官エーチエムシエシキンス

何 某 殿

一千八百七十二年  
華盛頓府勸農寮職制

紀元千八百七十二年 華盛頓府勸農寮職制

一 勸農頭 一人

大統領及議院ノ撰舉ニ依テ當官ニ任ス

一千八百六十二年議定スル所ノ制度ニ基キ局中ノ

事務ヲ全權總裁シテ年々之ヲ大統領ニ報告ス且局

中官吏ノ黜陟ヲ司ル

歳俸三千弗

現今在官フレデリック、ワッツ

一 書吏長 一人

局中一般ノ事務及ヒ通信ヲ司リ且官吏ノ事務ヲ監

督ス

歳俸二千弗

現今在官ジェームス、スワンク



一 博 蟲 司 一 人

博 蟲 課 及 農 事 博 物 ノ 事 ヲ 司 リ 當 課 関 係 ノ 通 信 ヲ 辦 理 シ 一 月 一 年 毎 ニ 課 中 ノ 事 務 ヲ 頭 ニ 報 告 ス  
歳 俸 二 千 弗

現 今 在 官 タ ウ ネ ン ド、グ ロ バ ー

一 分 離 司 一 人

舍 密 ノ 分 課 ヲ 司 ル 其 他 前 ニ 同 シ

歳 俸 同 シ

現 今 在 官 ラ イ ラ ン ト、チ ー、グ ラ ラ ン

一 種 園 司 一 人

種 園 ノ 分 課 ヲ 司 リ 及 ビ 管 内 ノ 土 地 試 験 場 ヲ 督 理 シ 植 物 ノ 事 ヲ 司 ル 其 他 前 ニ 同 シ  
平 日 凡 ソ 二 十 五 名 ノ 園 丁 ヲ 管 理 ス

歳 俸 同 シ

現 今 在 官 ウ キ リ ヤ ム、サ ヲ ン ダ ー

一 編 輯 司 一 人

農 事 一 般 及 ビ 市 場 等 ノ 報 告 ヲ 編 輯 シ テ 月 ヲ 年 ヲ 二 種 ノ 報 告 史 ヲ 出 版 ス ル ヲ 司 リ 且 時 々 内 外 農 事 ノ 形 勢 及 ビ 分 課 ノ 事 務 ヲ 年 々 頭 ニ 報 告 ス ル 等 其 他 前 ニ 同 シ

歳 俸 同 シ

現 今 在 官 テ エ ー、ゴ ー、ド ッ ゲ

一 出 納 書 吏 一 人

年 々 公 會 ノ 決 議 ニ 依 テ 宛 行 ハ ル、所 ノ 官 金 出 納 會 計 ノ 事 ヲ 務 ム  
歳 俸 千 八 百 弗

現今在官ビ、エフ、フルラー

一種庫司 一人

頭ノ指揮ニ應シ内外國ヨリ一般ノ良種ヲ買ヒ蓄積シテ諸部ヨリ乞フノ時書吏長檢印ニ依テ是ヲ分配スル等ヲ司リ且分課ノ事ヲ記録スルヲ司ル事ノ多クニ増減アリト雖モ通例凡男女十二名ノ職人ヲ管理シテ仕役監督ス

歳俸同シ

現今在官アンデリユー、グラス

一書庫司 一人

農事ニ関スル所ノ書籍及ヒ地圖等ノ事ヲ司リ且農書ヲ購求シ及ヒ當局一般往復ノ書信其他ハ官印ヲ置クヲ司ル

歳俸同シ

現今在官ヂェー、ビ、ロスセル

一本草司 一人

本草ノ分課ヲ司リ普ク草木ノ見本ヲ蓄積シテ其品格ヲ明辨シ當課ノ通信ヲ司リ頭ニ事務ヲ報告スル等前ニ同シ

歳俸同シ

現今在官ヂェールヂ、ワスエ

一通信官 五人

教令及ヒ種物等ニ関スル所ノ信書ヲ録シ且報知ヲ司リ頭書吏長其他分課ノ局々ヨリ渡ス所ノ文書等ノ事ヲ務ム

歳俸同シ

現今在官エー、ビー、グラミ

チヨルヂ、ヘルミツク 外國應答ノ  
文書ヲ司ル

ダブリユー、ヂー、コウエニー

エフ、エキ夫、ノーム、パエー

チヨースエフ、ダブリユー、ウキルソ

一分離佐官 一人

歳俸千六百弗

現今在官ウキリヤム、マートリツク

一出納佐官 一人

歳俸同シ

現今在官エー、エス、ニユートン

一博識佐官 一人

歳俸同シ

現今在官チアーレス、アール、ドツヂ

一種園佐官 一人

歳俸同シ

現今在官ヂェイ、エキチ、ブルエンメル

一種庫佐官 一人

歳俸同シ

現今在官ヂェイ、エン、バツドロニー

一寫状書吏 二人

來信郵便ノ月日ヲ記シ且其要事ヲ抄録シ是ヲ出版  
スル等ノ事ヲ務ム

歳俸千八百弗

現今在官アール、チー、ライン

歳俸千四百弗

現今在官チエイ、エキチ、ベツケレス

編輯書吏

一人

編輯局ヨリ諸部へ送リタル廻状ノ返信ヲ操理シ是  
ヲ編輯スルヲ務ム

歳俸千八百弗

現今在官イ、ヒ、シ、メ、リ、ツ、ク

一同

二人

農事一般及ヒ市場農産ノ價格形勢等ノ事ニ付編輯  
局ヨリ諸部へ送リタル廻状返信ノ表ヲ記録シ編輯  
スルヲ務ム

歳俸各千六百弗

現今在官ヂョーセフ、ロビー、スタブラー

ヂョーン、ブラドリ

一同

一人

出版スヘキ信書等ヲ抄寫シ且廻状等ノ書筒名宛ヲ  
記ス等ノ事ヲ務ム

歳俸千四百弗

現今在官アール、イー、スミス

一同

一人

編輯ニ要ル所ノ廻状ヲ抄録シテ冊子ニ列ルヲ務  
ム

歳俸千四百弗

現今在官ウヰリヤム、フレツチヤ

一 雜記書吏

一人

文案ヲ調ヘ臨時ノ事故ニ於テ權下ニ送ル所ノ令書  
ヲ認メ或ハ草稿ヲ讀ミ糾合淨書等ノ事ヲ務ム

歳俸千四百弗

現今在官ホーレシ、パイパー

一同 一人

農事ニ関係スル経験ノ積成ヲ掇理纂輯スルヲ務ム

歳俸千六百弗

現今在官ヂエイ、エツキス、バルロー

一抄寫書吏 一人

エルヨリ、ズエーニ至ル記号ヲ冠ル所ノ書簿ヲ管掌シテ参考ニ供スヘキ書翰等ノ抄寫ヲ務ム

歳俸千二百弗

現今在官シ、ゲル、カム、ペ、エブル

一同 一人

同前エーヨリ、エルニ至ル部ヲ管掌スル前ニ同シ

歳俸同シ

現今在官エス、エヌ、スレター

一同 一人

書翰及ヒ記号ヲ調へ書吏長ノ検査セシ背書ニ依テ諸返書等ヲ調ルヲ務ム

歳俸千二百弗

現今在官ヂエイ、エ、エ、エ、ス、プリングマン

一同 二人

文章書翰及ビ質問用紙等ヲ記ス

歳俸九百弗宛

現今在官イー、エー、クローネス女

リッビー、スワック女

一同 一人

文章書翰類ヲ抄寫ス

歳俸九百弗

現今在官ヂェイ、エス、ムール女

一同 一人

同前

歳俸同シ

現今在官エー、エス、カードウエル

一問 糸用紙書吏 一人

問 糸用紙ノ事ヲ務メ且頭ヨリノ書筒等ヲ記ス

歳俸千八百弗

現今在官フレデリック、ワッツ

一郵便書吏 一人

郵便書信往復ノ事務且書翰ヲ認ル等ノ事ヲ佐ク

歳俸千二百弗

現今在官ダブリュー、ダブリュー、グリーン

一禽獸雜形工 一人

農事博物ニ供ル所ノ禽獸及ヒ蟲類ノ脱身等ヲ細工

シ且之ヲ保護スルヲ務ム

歳俸千弗

現今在官チー、ワリー、ラー女

一博物應接吏 一人

博物看客ニ應接シテ尋問スル所ノ諸件ヲ説示スル

ヲ務ム

歳俸同シ

現官在官シー、シー、ムートン女

一 換寫史

一人

兼實其他夷魚ノ雜形ヲ模寫シ且外國書信等ノ譯ヲ務ム

歳俸千二百弗

現今在官ダブリユー、エ井チ、シーマン

一 顕微鏡吏

一人

試評ヲ乞フ為メ諸部ヨリ送致セシ草菰等ノ物質ヲ試験シ之ヲ報知スルヲ務ム

歳俸同シ

現今在官ソーマス、テイロル

一 種庫書吏

二人

公會議院ヲ始メ諸農事交社ハ素ヨリ乞フ所ノ諸人ニ分配シタル種子ノ書簿ヲ主ル

歳俸千四百弗

現今在官

同千二百弗

現今在官エー、チー、ロングリー

一 書吏

一人

上版シタル書翰及ヒ質問用紙ヲ掌理ス

歳俸千二百弗

現今在官エフ、チエー、ネーグル

一 同

一人

諸部農事交社ノ名簿ヲ整列記録スルヲ務ム

歳俸同シ

現今在官エス、イー、チヤムベリン

一 觀象課書吏

一人

觀象課ノ邦知史ヲ録シ關係ノ通信ヲ務ム  
歳俸千四百弗

現今在官ヂェイ、シ、フヲスラー

一書吏 一人

諸部農事交社ノ名簿ヲ整理記録シ且各社ノ通信ヲ務ム

歳俸千六百弗

現今在官ダブリユ、ロ、タムソン

一記録預リ 一人

記録ヲ掌理シ頭及ヒ書吏長ノ指揮ニ依テ之ヲ諸部ニ送送スル等ノ事ヲ務ム

歳俸千二百弗

現今在官ダブリユ、チ、コバチ

一器械方 一人

諸器械及ヒ局中温度器装置ノ事ヲ務ム

歳俸千四百弗

現今在官ヂェイ、ダブリユ、スタヘ

一木工兼指物工

局中ノ建具及諸修覆ノ事ニ注意シ且箱類ヲ作ル等ノ事ヲ務ム

歳俸九百六十弗

現今チヨースユフ、ヘリー

通計官負諸工ニ至ル五十二人

内婦人五人

外ニ職人三十七人



西曆一千八百七十一年第六月ヨリ同二年六月三十日  
終ル十二月ノ官費支給如次

一 歳俸七萬五千七百七十弗

一 編輯局一萬五千弗

一 種庫四萬五千弗

一 試驗種園一萬弗

一 臨時官費一萬二千九百弗

一 諸財及修覆四千七百弗

一 博物局二千弗

一 書庫二千。五十弗

一 諸職人三千四百五十弗

一 管轄地ノ修繕二萬六千八百弗

通計十九萬七千。七十弗

一 諸布告通信及種子等ヲ諸部へ贈ルノ郵便ニ  
以下ハ無債ナリ

華盛頓府勸農寮事務章程

事務章程

鳴門義民 譯

一農部省ノ目的ハ當省勸設ノ章程中ニ於テ明亮ニ縷述スル左ノ如シ

此章程ハ合衆各邦ノ代議士ノ會合セル所ノ議院ニ於テ決議スルモノナリ

第一章

合衆國ノ政廳ヲ建ツル所ノ地ニ於テ農部省ヲ設置セル旨趣ハ農部トイヘル意ニ基キ合衆國中ノ人民ニ耕作ニツキ必要ナル諭言ヲ示シ且新タニ有益トナルヘキ種子類並ニ植物ヲ求メ得之ヲ分賦シテ生殖セシムヘキ為メナリ

第二章

又議院ノ決議ニ從ヒ大統領ヨリ農部省全權ノ者ヲ命ス

へ此全權ハ農部省全權ハ農部省ノ事務長官ニシテ大  
統領ヨリ命シタル所ノ諸省ヲ統フル國內士官ト同等ノ  
權ヲ有シテ其省ヲ司リ每歲俸金三千弗ヲ受クヘキモノ  
ナリ

### 第三章

又農部省長官ノ本務ハ智畧ヲ盡シ方法ヲ設ケ書籍類或  
ハ通信家致ハ實驗或ハ試験ノ記録及ヒ称量ノ集録等ヨ  
リ農事ニ緊要ナル報告類ヲ摘録シテ之ヲ省中ニ聚蓄シ  
且ツ貴重スヘキ新種子新樹ヲ集ルルニ盡カシ又耕耘試  
驗シテ其得失ヲ察知シ且ツ之ヲ生殖セシメ其必益トナ  
ルヘキモノヲ蕃殖シテ以テ農家ニ分配スヘキモノトス  
○又每歲其施行セシ顛末及ヒ貨幣ノ出納トヲ記載シテ  
之ヲ大統領ト議院ニ報告シ且ツ之ヲ刊布スヘシ○大統

領及ヒ議院ニテ特別ノ事件ヲ要セハ長官之ヲ調査シ其  
意ニ適セル各款ヲ報スヘシ○長官ハ内部省專賣免許局  
ノ農部ニ屬セル一切ノ事務ヲ擔任シテ之ヲ總理シ且ツ  
園圃ヲ開キ之ヲ所有シ之ヲ定ムルヲ管掌シ及ヒ議院  
ノ議了セル農部省定額金ノ出納ヲ司リ從來農部ニ費セ  
シ金額ト殘額トヲ記シ其會計書ヲ明示スヘシ農部省  
長官ハ合衆國ノ郵便ニテ該省ノ文書ヲ無償ニ往渡ス  
ルヲ得ルヘキヲ但シ一便ノ秤量三十二トンヌヲ限リト  
ス

### 第四章

又農部長官ハ二千弗ノ俸金ヲ與フル所ノ書記官ノ長ヲ  
命スヘシ此書記官長ハ長官他出或ハ不在ノ中其長官ノ  
職掌ヲ執行フ者ナリ又長官及ヒ他ノ官負ヲ選擇スヘシ

其俸給ハ政府ノ諸省ニ於テ同等ナル官負ニ照準ス時々  
議院ニ於テ之ヲ決定ス但シ省中ニ要スル人負ハ時々議  
院ノ會議ニ於テ決定スヘシ即チ化學者本草家虫學士其  
他凡テ農事緊要ノ理學ニ達シタル學士等ナリ○長官及  
諸官負ハ該省ニ奉務スヘキ事ヲ神ニ誓ツテ其約ヲ固ム  
ヘシ○又上ニ云フ長官及書記官其職掌ヲ奉スル前ニ合  
衆國大藏省ニ抵当物ノ証券ヲ出スヘシ即チ其額ハ長官  
ハ一萬弗書記官長ハ五千弗ナリコハ農部省事務ノ為メ  
ニ受領セル所ノ金額ヲ三ヶ月毎ニ計算シテ大藏省ノ正  
算司ニ差出し其過失ナキヲ認メシメ尚長官及ヒ代理人  
ノ誠實ナル處分ヲ要スル為メニス此証券ハ過失アル時  
ニ至リ其過失ニ應スヘキ為メニシテ大藏省検査頭ノ官  
署ニ収置スヘキ者ナリ

千八百六十二年五月十五日

右章程中ニ於テ当省ノ事務ハ精密ニ記載セリト雖モ其  
職ヲ奉スル為メノ細詳ナル編制ト必要ナル設備トハ暗  
ニ悉ク其長官ニ依托セル事ニ注意スヘシ大責ナル此依  
托ノ一成效ノ中ニテ農事課中ノ專賣免許局ニ於テ意ヲ  
注キシ方法ハ中絶スルコトナク且ツ當省ノ初制ハ其課ノ  
旨趣ニ際限アリシテ事務逐次ニ進歩シ一ツノ律例モ議  
院ノ勸解ヲ受ルナク当初思ヒ到ラサリシ所ノ數種ノ形  
勢ヲ含ミ今日ノ如ク盛大ナルニ至レリ斯ク逐次ニ勸業  
セルモノハ萬木聚養場並ニ當省ノ地ヲ裝飾シテ公平ナ  
ル趣味ノ畜育並ニ稀有ナル外國種ニシテ米國ノ地質ニ  
容易ク馴シ益トナルヘキ植物ヲ充テタル所ノ大ナル畜  
藏所ノ建築並ニ南部農業ノ回復並ニ農學校ノ振起並ニ

進歩セル農家園丁家菓樹家等ヨリ日々各種ノ物件ヲ通  
 達シテ当省ノ注意ヲ促セル應答消息等ト呼フモ妨ナカ  
 ラシ当省ハ右ノ如ク大ヲナセ凡其初ハ然ラサリ其各  
 種ノ分課其管理日々ノ事業ニ至テハ立法ノカヨリ及テ  
 慣習ノ勢ニ成レリ又當省ノ事務ハ甚夕異ニシテ他省ノ  
 課業ニ全ク倣ハサルトト思考スヘシ耕耘ハ今日緊要ナ  
 ル状態アルモ明日ハシカラス右ノ旨趣ハ唯當省ニ時々  
 生セシ所ノ豪富ノ變更ヲ縷述シ且ツ既往ノ試験ニヨリ  
 農事ニ進歩セル各友ノ嘉シテ注意撰舉アル所ノ他ノ變  
 更ヲ誘フヘキ望ミニ應センノミ

○方今農部省ニ於テ編制シテ管掌セル分課左ノ如シ

- 第一 編輯魚布告課 國士學者ハ編輯司ナリ
- 第二 種子類分賦課 課長ハ種庫司ナリ並ニ佐官アリ

第三 園丁蕃殖課

第四 化學課

第五 本草課

第六 蟲學課

第七 博物館課

第八 書庫課

第九 通信記録會計課

第十 証書分賦課

爰ニ賢哲ノ批評ヲ鼓舞セントテ欲シ右分課ノ律例ト其  
 事業トヲ解説ス若シ當省ニ於テ關係ナサバルヲ得サル  
 所ノ事務ニ急リアル時ハ各友必ス其過失ヲ知ルヘシ然  
 レ氏銳敏直実ニ此事務ヲ勤ムル氏ハ必ス其信用ヲ得ラ  
 ルヘキナリ

課長ハ種園司ナリ並ニ佐官アリ

化學士ハ分離司ナリ並ニ佐官アリ

課長ハ本草司ナリ

農學士ハ博學司ナリ並ニ佐官アリ

課長ハ書庫司ナリ

課長ハ通信記録會計司ナリ並ニ通信官アリ

課長ハ証書分賦司ナリ

第一編輯兼布告課

本課ハ國誌學者一名ト書記官十名トニテ成レリ又此中  
ニテ部ヲ分チ月々歳々ノ編輯ノ設備ト当省ノ別格報知  
トヲ司リ他ハ報知類ノ文字ヲ可否訂正スルヲ司レリ  
故ニ其事業ハ編輯出版ノ兩課ニ等シ当省ノ事務ハ自ラ  
増加スヘケレハ右ノ業ヲ別チテ特權ヲ有スル所ノ別  
課トナラント必ス近キニアラン

○農事ニ依テ生スル產物收納ニ関レル所ノ編輯物ノ定  
時新報ヲ聚集スルトハ当省設置後直ニ永ク省ノ管理ト  
確定セリ其緊要ナルトハ久シク世ニ知ラル当國人ハ農  
事方法ノ給與ト價直ト後日ノ意見ト收納ノ多寡トヲ間  
知スルト欲シタリ此報告ハ人口ノ定負ニ隨ヒ十年ニ  
只一次ノミニシテ其他ヲ要セサルヘシ久シク希望セル

所ノ編輯課ハ確定シテ其闕漏ヲ補ヘリ農事編輯書ノ  
聚集ト報告トノ方法ハ当今注意スル所ト大略同シ通信  
家ハ國郡毎ニテ其社負定マレリ現今ニ至リ其總數々千  
トナレリソハ少キモ合衆國ノ郡毎ニ一通信家ヲ置クヘ  
キハ当省ノ目的ナリ但シ一郡ニ四名以上ノ數ヲ分派セ  
ス此通信家ハ金錢ノ資給ヲ受ケス但シ当省ノ報告ト種  
子類ヲ給與スル事ニ依テ各其務ヲ奉ス此人負ハ百名ノ  
中一名モ商工ノ中ヨリ選ハル、トナク大抵業ニ慣レタ  
ル所ノ農人ノ中ヨリ選舉セリ其人々ハ特ニ卓越セル農  
民ニシテ農事ノ目途ニ於ケル報告ヲ適宜ニ往復シ各其  
地方ノ住民ヲ誘導スルノ尽カアルニヨリ選擇セラレタ  
ルモノナリ○毎月十五日ニ園圃ノ面積ト植物生長ノ景  
況ト收穫ノ額及ヒ價直其他產物ニ關係セル所ノ問題ヲ

特別ニ陳述シタル轉章ヲ設ケ右ノ通信家ニ贈リ其田谷ハ務メテ精密ニシテ明亮ニ了解セラル、為メ數字ニテ記載スルヲ要セリ方今ハ常ニ右轉章中ニ左ノ說示ヲ刊載ス即チ坪數ト景況ト前數年トヲ比較シタル収獲ノ額或ハ収納平均額ノ比較トニツキ百ヲ題トナシ収納ニ一割ノ増アレハ百十ト書シ五歩ノ減シアレハ九十五ト記スヘキ等ナリ○右ハ通信家ノ注意及對スル欲或ハ思考ノ不正ヨリ起ルニアラサレハ要スル所ノ應答ヲナスニ至リ錯誤ヲ生セサルナリ但シ何等ノ一ニテモ數學ノ精密ナル應答ヲ需ムルニアラス唯際算ノミニテ足レリトス畊耘セル田圃ハ計量スルニアラス又水旱蟲草等ニテ意外ニ生スヘキ災害ハ預言スル能ハス且ツ畜産ヲ算セス収納ハ權衡ニ當ラス○轉章ハ分賦セシ月ノ次月ノ

第一日ニ返却スヘシ当省ハ右ノ答書ヲ得ルヤ直ニ其中ニ記載セル條件ヲ類別シテ表トナシ國誌學者之ヲ評論シ而シテ後チ印刷シテ當省ノ月報トナシ之ヲ頒布ス方今ノ長官ハ常ニ好テ本月中旬以内ニ出版セリ年報ノ一部ハ右通信家ノ月卷ノ輯録ニテ成レリ毎年農事ニ就キ出產シタル者ノ計畫ハ十年ニ一次編成スル戶籍ノ下ニ記ス但シ當省ニテ施業スル所ノ各品ノ収納ノ地坪及ヒ其產出ノアツセルニ凡ソ或ハ噸凡ソニ百或ハ一年ニツキテ幾許ト云ヘル價ノ事等ニ至リテハ之ヲ掲載セス又當省ノ月報ト年報ニハ大都ノ商用日記ニ掲ケタル物品ノ時價ヲ再記セリ○編輯課ニ屬セル文學ノ事務ハ省中ニ設備スルモノト省外ニ分賦セルモノトノ兩般ニ類ヲ分ツ省外ニ分賦セル出版書ハ一葉幾許ノ定價ニテ賣典



ハ此印書ハ通常定マリタル通信家ト臨時ノ通信家トニ  
轉章ヲ贈リテ搜索シタル應答ノ特別ナル旨趣ト内外ニ  
流布セル農事ノ報告トニ因テ輯録セリ○スミツソン氏  
氏ノ規定セル氣中頭像學ニ関スル通信家ノ注意セシ記  
録ヲ以テ從來本省ノ月報ト年報トノ中ニ陸續掲載セリ  
トイヘ氏農家ノ為メニ裨益少ナク且ツ徒ラニ其紙面ヲ  
塞クコト多キヲ以テ今時之ヲ刪レリ但シスミツソン氏ノ  
遺業トモ看做スヘキ合衆國各地ノ氣候ト日々ノ天候ト  
ニツキテハ議事院ノ章程ニ於テ軍務省中暗号隊ノ職掌  
スル所トナレリ農部長官モ又氣中頭像表ノ如キハ政府  
ノ律例ニ應セサル歟アルヲ以テ寧ロ之ヲ他ニ屬シ本省  
ノ報中ニ記セスシテ可ナリト信セリ氣中頭像表ノ報告  
ニ辨解ナケレハ農家ノタメニ益アラサルコトハ南部農會

社ノ書記ヨリ本省ノ長官ニ寄セタル所ノ書翰ニ能ク之  
ヲ縷述セリ今之ヲ左ニ掲掲ス彼レ本省ノ事務ニツキテ  
曰ク頭像學ノ中ニモ毎歲晚春ノ終霜又早秋ノ初霜並ニ  
各季ト成長収獲ノ間トヲ區別シテ寒温降雨ノ候許ヲ  
記載スル如キハ余輩ノ為メニモ聊カ益アルヘキ歟農家  
ハ自己ノ注意カ致ハ農部省及ヒ暗号隊ノ著目ヲ仰カサ  
レハ此等ヲ一般ニ處分スヘキ餘暇アラスニ其能ク有セ  
サレナリ方今ノ収納季節ヲ過マタサル所以ハ余輩ノ誘  
導ヨリナルト雖モ一ツノ記録ヲ存セス

月報ハ三月五月八月十一月ノ四ヶ月ヲ除キ毎月二万七  
千冊ヲ印刷シテ新聞家農會社農學校並ニ其社中本省定  
例ノ通信家議院ノ官負他國在田ノ特許ヲ得タル官負ト  
華盛頓ニ在ル外國ノ全權トニ分賦ス年報ハ凡二十五万

冊ヲ印刷セリ就中唯二万五千冊ノミ当省ヨリ分賦セル自  
余ハ議院ノ官負ヨリ分賦ス当省ヨリ分賦セル二万五千  
冊ハ大抵定例ノ通信家ト農會社ト各種ノ願人トニ贈レ  
リ此月報年報ハ總テ合衆國議事院ノ印刷匠ヲ以テ印刷  
セリ又議院ノ卓越タル貴官ト農部ノ長官盡カトヲ以テ  
別ニ年報ノ冊數ヲ増加シ置キ何人ニテモ要ムル者アレ  
ハ之ヲ賣与スヘキトス但シ政府ニ納ムル本價ハ印刷  
裝綴ノ費ヲ合セテ一冊五十錢ナリト記シテ可ナリ故ニ  
郵便並ニ色費ニテ其雜費凡六十錢トナラシメ○当省ノ年  
月二報ノ音趣ハ世人ノ能ク知ル所ニシテ年報ニハ不朽  
緊要ナル農事ノ告諭ヲ示シ月報ニハ收納ノ推美ト市街  
ノ新報トヲ加ヘ通信家等ヨリ得タル所ノ日新ノ農事ヲ  
述フ然リト雖モ現今ノ長官ハ尚月報ノ貴重ヲ増シ其感

應ヲ擴ルルヲ以テ急務トセリ己ニ長官ハ省中數課ノ人  
負ニ其課毎ニ月報ノ紙數ヲ分ツヘキトヲ命シ且ツ從來  
ヨリモ一層書体ヲ變更シ務メテ了解ナシマスカラシメ  
ント欲ス又月報ハ毎歲八回刊布ノ制ナレド少ナクモ每  
月一回ツ、刊布スルナラハ適宜ナラント思ヘリ且ツ其  
報書ニハ自他ノ邦國ニ於テ農事進歩ノ新報ト外國ノ定  
時新報中ニ掲ケタル所ノ農學ニ注意セル条件ノ摘録ト  
ヲ編加セント欲セリ今毎歲四回ノ月報ヲ欠ク時ハ農家  
ノ為メニ益アルハキ報告或ハ偶然久シク失スルトアル  
ニ至ラン○米國ノ農家ニ極テ必要ナルモノハ外國ノ収  
納ノ景況ヲ知ルルニアリ若シ外國ノ収納惡キトアラハ  
之ヲ速ニ報知ナサルヲ得スコトハ農家ヲシテ報告ノ遲  
速ニ基キ屢非常ノ利ヲ占ムル所ノ仲買人ノ強奪ヲ免レ

シムレハナリ故ニ内外ノ収獲ト他國食品ノ時價等ノ如キ然テ有益ナル新報ヲ編輯シ少ナクモ毎月一次報告スルハ國ニ對シテ当省ノ務タル疑ヒヲ容レス

第二種子類分賦課

一本課ノ權ハ機關ノ章程中ニ明亮ニシテ当省事務ノ景況ヲ誘導セリ但シ或ハ時アツテ種子ノ分賦ハ緊要ニアラストノ疑雜ヲ生スルコトアリ其旨意ハ農家輩ノ費ナク徒手ニ種子ノ袋ヲ受ルハ恰モ木匠治工ノ貨幣ヲ費サスシテ職業器械ヲ其政府ヨリ得ルカ如シト云フ是ナリ然レ氏種子ノ分賦ニツキテハ緊要ナル二ノ旨趣ヲ体認セリ第一種子ハ一収納ヲ生スヘキ饒多ナル數量ヲ一家及ヒ一社ニ付与セス第二分賦セル種子ハ農家ノ容易ク獲カタキ所ノ異種ニシテ之ヲ受ルト雖モ木匠ノ鉋治工

ノ如ク唯ニ得ル者ノミヲ益セス○小麥稈麥燕麥大麥綿苧等ノ種子ヲ試驗ノ為メニ贈ルハ唯一クウヲ一ル凡四合ヨリ一ブツセルニ凡ニ斗迄ノミナリ若シ異種ノ從前ヨリ耕耨セシモノニ勝レルコトヲ認メ試驗ノ必要ニシテ捨テ雜キヲ記セハ試驗家ハ必ス意ヲ注キテ其物産ニ勉メン然ラハエレヨリ逐次ニ収納ノ増加ヲ得テ全國ノ益トナルヘシ千八百六十九年ニ當省ノ年報中ニ書記官インバイン氏ノ掲載シタル所ヲ左ニ摘録シテ何等ノ利益アルヘキ歟ヲ示スヘシ即チ千八百六十八年當省ノ年報ニ掲ケシ所ハ小麥ノ収納二億二千四百。三万六千六百ブツセルニシテ此地坪千八百四十六万。百三十二エイクル一エニルハ我々平均一エイクル毎ニ十二ブツセル一分ノ収獲ナリ其價ハ一ブツセルニツキ一弗四十二錢ツハニテ總

額三億千九百拾九万五千二百九十弗ナリ当省ヨリ分賦  
とし小麦ヲタバハノツクヤグビ地名ニ於テ試験セシ報告  
ニ平均二十五ブツセルツ、一エイクル毎ニ収納セシ  
ヲ記セリ千八百六十八年ノ地坪ニ於テ右ノ割合ニ収額  
トハ其高四億六千五百五十万。三千三百ブツセルトナル  
即チ二億三千七百四十六万六千七百ブツセルノ増ニシ  
テ一ブツセルノ價一弗四十二銭ナレハ三億三千七百二  
十万。二千七百十四弗ノ増金トナルベシ歟リト雖モ別  
ニ試験ニ注意スルナク從來ノ如ク尋常ノ小麦ヲ播種  
シテ之ヲ収獲セハ素ヨリ其収獲ノ額ハ二十五ブツセル  
ヨリモ廻カニ低カラシ但シ若シタバハノツクノ収獲額ヲ  
低ク算シテ一エイクル毎ニ十五ブツセルツ、ノ増産ヲ  
得ハ五千五百三十八万。三百九十六ブツセルニシテ其

金ハ七千八百六十四萬。百六十二弗ノ増トナルヘシ○  
千八百六十八年ノ燕麥ノ収納ハ二億五千四百九十六萬  
。八百ブツセルニシテ此地坪ハ九百六十六万五千七百  
三十六エイクルナリ即平均一エイクル毎ニ二十六ブツ  
セル三分ツ、トナル其價ハ平均一ブツセルニツキ五十  
五銭ツ、ニテ惣額一億四千二百四十八万四千九百十弗  
ナリ又當省ヨリ贈リタル所ノ燕麥ノ新シキ異種ヲエキ  
セルシタル地名ニテ試験セシ報知ニハ一エイクル毎ニ平  
均四十ブツセルツ、ノ収納ニシテ一エイクルニ六十ブ  
ツセルヲ獲ルモ非常トナサスト右新種ヲ通常ノ産出ニ  
見ナシ平均一エイクル毎ニ三十ブツセル三分ノ収納ト  
計算セハ千八百六十八年ノ収納ヨリ多キ事平均一エイ  
クル毎ニ四ブツセルツ、ニシテ燕麥ノ一種タモ國ニ富

ヲ加フル一三千八百六十六万二千九百四十四ブツセル  
マテ其價ハ二百二十六万四千六百十九弗ナリ又新種  
ヲ得テヨリ數年ハ經サレ氏エキセルシタルノ燕麥ノ量  
同ハ尋常種ヨリ平均二割重キ事トス屢一ブツセルニ  
ツキ新種ハ量目四十ポンドヨリ四十五ポンドト報知ス  
ル一アレトモ之ヲ平均三十六ポンドト見ナシ尋常種ヲ  
三十ポンドト計算ス而シテ前ニ掲ケタル所ノ金額ニ二  
割ヲ加ヘハ其増二千五百五十一万七千五百四十二弗ト  
ナルヘシ○当省ヨリ新シキ異種ヲ贈リ之ヨリ生シタル  
所ノ有益ナル成效トナス近來ノ數例中ニテ左ノ二条ヲ  
摘録ス一ツハイリノイス地名ノボウキレ地名ヨリ原  
野ノ農家ニ贈リタル書ナリ其言ニ曰ク五ヶ年前余カ隣  
人ノ賢キ一名華盛頓ヨリ小麦一袋ヲ受ケ之ヲ試驗シ第

二次ノ収納ニ半エイクルノ地ニ於テ家上ノ小麦十八ブ  
ツセルヲ得タリ他種ノ小麦ニテハ一エイクルニ唯五乃  
至十ブツセルノ収納ノミニ過キズト雖モ此小麦ニテ昨  
年一エイクル毎ニ二十乃至三十ブツセルツ、収獲セリ  
就中此小麦ノ有益ハ一エイクルニ其種唯四五ブツクハ  
凡五クハ五升ヲ要スルノミ且一ブツセルノ重量ハ六十四ポ  
ンドアリ故ニ市場ニ在テハ第一等ニ位ス而シテ臭蟲ノ害  
ヲ受ケスト次ハミネソタ國名ノドンバル氏ヨリ合衆國ノ  
議事官ラムセイ君ニ贈リタル書ナリ曰ク三ヶ年ニ足下  
ヨリ賜ハリタル所ノ燕麥ハ上品ナルヲ証ス之ヲ三十  
ブツセル三十弗ニテ昨年種子ニ賣レリ右ハ一ブツセル  
ノ重量四十七ポンドツ、アツテ一エイクル毎ニ凡六十  
ブツセルツ、収獲セシモノナリコレハ其重量ニテ集ヒ

八九十グツセルトナラン余ハ本年四百六十五グツセル  
ヲ産セリト○植物並ニ種子類ノ惡クナレル原因ハ了解  
シ難キニ似タリ曾テ耕耘ニ注意スレハ漸次ニ惡クナレ  
ルハ防キ難カラシカコレ多ク其植物ニ土質ノ應否ア  
ルハト思考ス小麦ノ耕作ニ適セサル土ハ實ニ其質ヲ惡  
クシ且ツ収納ノ額ヲ減スヘシ但シ植物ノ慣習ト其地ノ  
土質ト互ニ應スル所ニ於テ若シ植物ノ質ト額ノ惡シク  
ナレハトアレハコレ種ノ撰擇ニ注意セサルト地ヲ耕ス  
ノ整ノハサレニ帰スヘシ小麦燕麥等ノ如キ種子類ハ國  
ニヨリ地方ノ氣候其耕耘ニ適セサルヨリシテ通常所額  
ノ喪失スルヲアリ右大麥ト燕麥トハ切ニ久シキ適宜ノ  
温ト生育セル間ノ氣候ニ准ヒアルヲ要ス燕麥ニツキチ  
ヤンベル氏ノ字書ニ曰ク大麥ノ粗種ノ如ク遙遠ナル北

地ニハ移シ難シト雖モ燕麥ニハ乾燥ヨリハ寧口濕氣温  
氣ヨリハ寧口冷氣ナルコソ適宜ナレト寒ク春ノ遅キト  
夏ノ蒸日トハ燕麥大麥ニ適セス但シ右ノ是況ハ常ニ合  
衆國ノ各地ニアリ其種子ノ選擇ニ意ヲ盡シ耕耘ニ不足  
ナシト雖モ尚収納ハ通例減耗ニ傾ケリ此傾ヲ回復スル  
ニハ唯右二種ノ適地ナル北歐洲ヨリ時々新種ヲ得テ當  
國ノ農家ニ分賦ナスニ如カサルノハ故ニ昨年中セルメ  
ントスコットランドトノ産ニシテ一ブツセルノ重量四  
十五ポンドツ、アリシ所ノ燕麥ヲ殆んど一千ポンド當  
省ヨリ分賦セリ當國ニ於テ數年間産シタル所ノ米國燕  
麥ハ一ブツセルニツキ三十ポンド以上ノ重量アルモノ  
殆んど稀ナリ○若シ當省ヨリ分賦セシ種子ノ優レルハ  
ヲ内外ノ通信等ヨリ発見スル欵或ハ其種子ヲ政府ノ難

費ニテ需メ農家ニ分配ナサ、ルキハイカニシテ我農家  
ヲシテ斯ク速ニ驚クヘキ産額ヲ産セシムヘケシヤ小麦  
大麥燕麥ノ如キ穀類ノ貴種ヲ得ハ一ブツセル或ハ其以  
上ヲ試験ノ為メ直チニ各州ニ分賦セリ斯ク当省ニテハ  
一家ノ勉力ニテ數年間ニナシ得ヘキ事業モ一時ニ多ク  
成效ハ實ニ私設ニテハ普ク國ノ各所ニ在ル農家ノ需メ  
ニ應ムルコト難クニ其速ナルコトハ当省ニテ施ス半ニモ至  
ラサル可シ○米國ノ土地ニテ未タ其功能ヲ試ミサル所  
ノ穀草類ハ普ク國中ニ弘ムルニアラスニ買者多カラサ  
ル所ノ高價ノ種子類ハ居民ノ疎ナル地方ニハ及ホサ、  
ルヘシ当省ノ勉ムル所ハ國ニ富ヲ加ヘ廣ク農業ノ倚賴  
ヲ助成シ農部省ヲ勸立セシ智見ノ正シキヲ確定ス○当  
省ヨリ種子ヲ分賦スルハ第一國郡等ノ農社中第二農

學校第三國誌學者ノ定リタル通信家第四議事院ノ議  
員第五各種ノ願人ナリ又此人々ヨリ國ノ各部ニ達シテ  
農事ノ各益ヲ起スルニ勸勵スル地方ニヨリテ特別ノ需  
メアルコトヲ預慮ス例ヘハ南部ニテハ草類ヲ要ス故ニ料  
種ヲ贈リ西部ニテハ木林ヲ好ム故ニ成育ノ速ナル木種  
ヲ分典スルカ如シ方今ノ長官ハ寧ロ人負ヲ減少ストモ  
従前分賦セル種子ノ額ヨリモ猶多量ニ各試験家ニ附典  
センコトヲ務トス實ニ僅ニ一掬手ノ種子ニテ試ムルヨリ  
モ五升乃至二斗ノ小麦燕麥ナレハ充分ナル試験ヲ遂ケ  
得ヘキ事必セリ農學校ハ各其國ニ適セリト思ヘル種子  
類ヲ以テ多量ニ試験スヘシニ農會社ト國誌學ノ通信家  
トハ当省ヨリ贈リタル所ノ穀草類ヲ小包ニ分ツテ數名  
ニ典ヘス唯注意セル所ノ其近隣ノ農家ニ耕耘収獲トシ

種子ヲ以テ數月ヲ閱セサル間ニ分配スヘキ僅ノ者ノミ  
ニ附與スヘシ當省ハ總テノ願人ニ悉ク貴種ヲ給スヘキ  
目途ニアラヌ唯各地方ニ適スヘキ種子類ヲ贈達スル至  
良ノ規則ヲ維持セルノミ農學校ト農會社ト當省ノ通信  
家トハ右目途ヲ成就セシムヘキ至良ノ措置ヲナサント  
疑ヒヲ容レズ總テ當省ヨリ種子ヲ受ル者ハ各其試驗ノ  
景況ヲ當省ニ報知シ歳月兩報ノ中ニ記載セシメテ種子  
選擇ノ誘導ト後日ノ分賦ノ為メニ備ヘンコトヲ希望ス○  
種子類分賦課ハ農事ノ精練ナル長官ノ擔任ニシテ副長  
官之ヲ助ク書記官三名ハ分賦セル總種子ノ記録ヲ司レ  
リ又秋冬春ノ間ハ十五名ヨリ三十名迄ノ書記ヲ増員ス  
並ニ婦人ハ種子類ヲ包束シテ船載スヘキタメニ常ニ之  
ヲ使役ス當省ヨリ贈レル包種ノ麻袋ハ方今分課ノ中ニ

於テ製シリ但シ種子ノ包紙ハ他所ニテ製セルモノナリ  
千八百七十二年六月三十日ニ本年中植物並ニ種子類ヲ  
辨買スヘキタメニ具ヘタル官金ノ額ハ四万五千弗ナリ  
但シ翌年中ノ準備ハ五万五千弗トナルヘシ大抵右ノ半  
額ハ通例田畑ノ耕耘ニ適セル所ノ種子ノ為メニ殘餘  
ハ菜種本種花種等ノ為メニ費セリ○昨冬ヨリ當春マテ  
ノ間ニ國々ノ社中六十九家ト農學校三十一ヶ所ト農會  
社千九百五十ト凡六千ノ國誌學ノ通信家トニ種子ヲ給  
セリ又議事院ノ人負ニ其好ム所ノ種子ヲ贈レリ十月ヨ  
リ五月マテノ間ハ各種ノ願人ニ種子ヲ給スルノ平均シ  
テ日々各三百名ニ下ラサリキ但シ準備ニ限リアレハ之  
ヲ好ムト雖モ總テノ願書ニ應ズルヲ能ハス  
千八百七十一年七月一日ヨリ同二年五月廿四日迄ノ間



ニ当課ヨリ分賦シタル所ノ種子ノ品類ト其額トノ表ヲ  
左ニ掲ク

分賦ヲ得タル人

種名	議事官并 議院ノ人負	農社中	國誌学ノ 通信家	氣中顯像 学家	谷種ノ 額人	通計
蔬菜二百八種紙包	十四万四千九百 六十五	九万二千二百 七十八	七万五千四百 五十五	七万二千九百 八十二	十四万六千二 百五十七	四十七万九千 百三十七
花百八十種紙包	七万五千九百 六十四	二万五千五百 二十	七万九百	七千三百 三十	七万六千六 百七十六	十九万九千 九百
草十二種 紙包	三千九百四十 八				二百八十八	四千二百三 十六
水并常葉木五十種紙包	六十八				千四百五十九	十五百二十 七
小麦四種 クラウド 凡四合 六タ	一万二千八百 〇五	八千七百三 十六	七万〇三百	五千七百六十 七	五千七百六十 七	三万七千六 百〇八
燕麥四種 クラウド	四千五百五十 七	七千四百十 八	五千二百〇六	四千〇一	四千〇一	二万九千〇 二
大麥三種 クラウド	二千九百九十 五	三千四百四十 八	十三百四十	千七百十二	千七百十二	八千九百九十 九
裸麥 クラウド	七百九十六		三千〇八十	二百七十八	二百七十八	四千五百五十 四
野玉蜀黍二種 クラウド	三百四十五		千二百	八百二十	千六百十五	三千九百八 十八

野豌豆 ハイント 凡二合 三勺	六百〇三	三千二百二 十四	千六百七十 四	八百三十八	五千三百三 十九
草種五品 クラウド	二千〇七十	十六	四	千七百五十	三千八百四 十二
首蓆七種 ハイント	九百五十六	二百四十八		九百〇五	二千九百〇九
烟草四種 紙包	二万一千七百 七十	百四十		五千四百八 十五	二万七千三 百九十五
砂糖茶葉二種 ハイント	八十一	四千二百〇四		四百六十一	四千七百四 十六
野菜茶四種 ハイント	五十二	二千五百五 十四		四百七十一	二千九百七 十七
空豆或ハクハク ハイント				百六十三	百六十三
密柑 地名 紙包				六十九	六十九
支那甘蔗 クラウド	二十二			二百〇四	二百二十六
鴉片罌粟 紙包	七十			四百二十六	四百九十六
第玉蜀黍 紙包				二十四	二十四
茶種 紙包	三十			百九十五	二百二十五
米 クラウド			十四	二十一	三十五

紡織物

綿二種 シールト	十二				五百四十九	五百六十一
ラミー 紙色					二百二十五	二百二十五
麻二種 半パイント	十四	六十四			四十六	百二十四
火麻 ルヒノ半パイント					二百三十五	二百三十五
亞麻 クシールト					四	四
總通計	二十七万三千 百二十三	十四万七千五 百三十六	十万〇八千九 百四十九	二万〇〇十 二	二十四万五千 二百二十六	七十九万三千 〇四十六

從來当省ヨリ分賦セシ所ノ冬小麦ノ中ニテハ地中海ノ  
 異種ヲ抽タリトスタパハノツク名地種ハ「ブシュルジニア」名地  
 ト「ベンビルベニア」名地ト「シレゴン」ニテ産セシ所ノ「リースタ  
 ラリア」種ト「イリノイス」産ノ取上種ノ中ニテ得タルモノ  
 ナリ燕麦ト大麦トハ「歐羅巴」ヨリ齎シ来レリスコ「ノネン」  
 名地白燕麦ハ「ハンボルグ」ニテ需ム「エキセル」ニシタル燕麦ハ

「プリスト」名地ヨリ得「コルリ」燕麦ハ「グラスゴ」ヨリ受  
 タリ並ニ「ポールサイイク」首席ト「イタリア」裸麥トハ「シラ  
 スゴ」ニ於テ獲タリ火麻種ハ「カルコツタ」ヨリ受ク至良  
 ノ砂糖菘菜ト野菘菜トノ種ハ「パリ」スヨリ得又其地ヨリ  
 庭園ニ播クヘキ所ノ佳種子類多ク来レリ其地ノ庭園ニ  
 播クヘキノ種子類ハ英國ヨリ来レリ但シ「東工」ノ番柿甘  
 藍葱瓜等ノ如キ通常ノ蔬菜類ハ我國内ニ生セリ又通例  
 花種ハ歐洲ヨリ輸入ス当長官ノ目途ハ米國ノ地質氣候  
 ニ應スヘキ良種ヲ需ムルニアリ故ニ名ノ實ニ合セサル  
 如キ低價ノ種子類ヲ退クルヲ以テ務トセリ固ヨリ当省  
 ニ於テハ賤種ヲ分賦セルヲ正シトセサルハ責ニ應シ  
 雜干商家ニハ其需求ヲナサハルヘシ

園丁植殖課

本課ノ目途ハ千八百六十七年間ノ農部長官ノ報告中ニ  
掲クル如ク當時ノ課長ニ依テ左ノ如ク簡易明瞭ニ陳述  
セリ 第一凡テ内外ヨリ得ル所ノ切枝球根植樹種子類  
ヲ以テ当國各所ノ地質ニ適スルヤ否ト其功能トヲ試ム  
ル為メノ搬運ヲ司リ且ツ之ヲ奨励ナス事 第二一種特  
別ノ培養ト敷種混交ノ培養トニ依テ成育セル所ノ各品  
ニ勝レタル佳質ヲ得セシムル事 第三樹類菓實ノ裁刈  
等ニ手術ヲ盡シ且其栽培ヲ異ニシテ産物ノ景況如何ヲ  
試ニ定ムル事 第四植物ヲ控ク各種ノ不順疾病虫類ヲ  
悉ク査究スル事 第五受クル所ノ諸種子ノ掲標品ヲ悉  
ク試ミル為メニ廣ク方法ヲ設クル事 第六樹墻ノ各種  
ノ標品ヲ作り其有益ナル所以ヲ示ス事 第七葡萄林  
檜梨桃蛇莓蓬菜コルレンツ等ノ如キ至良ノ菓樹並ニ

植樹等ヲ聚メテ培養シ各其功能ヲ比較スル事 第八園  
庭ヲ裝飾シテ景色ヲ加フル為メニ適セル所ノヨキ小樹  
ヲ聚メ植ル事 第九外國ヨリ得ヘキ所ノ菓實並ニ植樹  
ノ培養ヲ究メテ容易ナラシムル為メト並ニ建築ノ事温  
氣ヲ通スル事之ヲ所置スル至良ノ經濟法ノ例ニ充ツヘ  
キ為メトノ西旨趣ニ應セン為メ硝子ノ建家ヲ営ム事右  
ノ旨趣ヲ則トナシ忤フ所アラサリキ千八百六十二年間  
ノ本省ノ成規以來ハ當時ノ課長試験園庭ノ命ヲ司レリ  
六千八百六十七年ヨリハ当省建築ノ周圍ノ地ニ掌理セ  
リ但シ此年ヨリ以前試験園ニハ國産ノ菓樹ト他地ノ産  
物ナル種子類並ニ植樹ノ佳品ヲ以テ蕃殖セシムル事ヲ  
始メ其所置ノ智見ヲ顯ハセリ又爾來米國人ノ要スル  
所ノ園庭作法ノ試験比較ト其巧拙習熟ノ所ヲ示ムル少

ナカラサリキ斯レテ園丁等ノ數條ヲ公ニ顯ハス一ヲ得  
クリ○花園ハ唯花ヲ精密ニ整フル一ノミニシテ其類別  
ト繁茂ハ多ク報知セス○充分ニ温ヲ通スヘキ装置アル  
所ノ蓄藏所ハ東西ノ長サ三百二十フットニシテ其中央  
ヨリ又南方ニ百五十フット張出タル漆築アリ其中ニハ  
二至綠地近傍ノ菓樹ト海外ノ葡萄漆料護謄織品藥種等  
ノ如キ有用ノ植物類ヲ聚蓄セリニ萬木聚養所ニハ諸國  
ニ於テ見出シタル所ノ堅木小樹類ヲ充分ニ集メ保テリ  
其他当省ニ來レル觀客ノ眼ヲ慰ムルモノハ菓樹ノ試験  
林ト曲路ト高燥地ト平剪ノ芝原ト並ニ地勢ノ美景トナ  
リ課長若シ右ノ著手ヲヒロク成シ遂ルニ至ラハ其他ハ  
書籍ニアラサレハヨクナシ得カタキ所ノ日課ヲ施行ス  
ヘシ若シ稱賛セハ園丁課ハ面ヲ對シテ向答ナセル所ノ

活教師ノ如シト思ハルソレ菓實ノ名目ト米地ニ於テ畊  
耨ニ適セル所ノ數百千ナル外國植物ノ使用ト葡萄桃李梨  
等ノ疾病ト種類ヲ錯ヘテ益アル産出ヲ得ル一ト接芽裁  
刈接木ノ至良ナル方法ト園庭ヲ作り菓實ヲ生セシムル  
一ト導ク良法トヲ學フヘキ所ノ教育人ナリ實ニ本課ハ  
右ノ各款ヲ教授シ擔任セラレタル所ノ旨趣ヲ法則ニ從  
ヒ達セン一トヲ目途トス新樹珍木ヲ分賦スル如キハ容易  
クナシカタカラシ故ニ植樹ノ分賦ハ定限アルヲ可トス  
唯当課ノ事務ニハ其權ヲ有セサルノミ他所ニ於テ容易  
ク得難キ外國種ニテ我氣候ニ適當セル一トヲ發見シタル  
所ノ有益ナル貴價ノ植物ト之ヲ当地ニテ試験シ生育セ  
シメタル所ノ切枝等ハ当省ヨリ適宜ニ分賦スヘシ○魯  
西亞ノ北部ヨリ林檎二百種ヲ得テ其接木數千種ヲ我西

北ノ國都ニ分賦セシヲ以テ外國種ノ記トナシ並ニ米  
園林橋ノ接木ヲ以テ國産ノ記ト記載シテ可ナラン園丁  
課ノ輸致ヲ斥言スルニアラサレハ僅ニ分賦セルモノト  
雖モ小菓或ハ花樹ノ尋常種ヲ育殖セシトハ必ス唱ヘラ  
レサルヘシ○近時議事院ニ於テ都府ニアル所ノ公園ハ  
悉ク農部長官ノ所轄ニ屬スヘキ旨趣ヲ議セリ方今他ニ  
附屬セサル所ノ本草園ト公花園トノ事務ヲ奉スヘキ局  
ヲ設クルヨリハ寧ロ有用ト裝飾トニ用フル所ノ植樹球  
根蔓類ノ尋常種ヲ其園中ヨリ分賦スルヲ廢止スルニ若  
カシト園庭ノ事業ニ心カヲ尽スヲ以テ當課長ハ他ノ要  
務ニ関カルヲ妨ケタリ英國ハ正ニソノ大ナルバーム  
機<sup>類</sup>ト高キ樺樹ノ培養法ヲ得ント欲シテ觀客ノ世界中  
ヨリ集マレル所ノキウ<sup>名地</sup>ニ在ル官用本草園ヲ以テ誇ル

リ但シ其賜ハ低價ニアラス花壇工ニテ寫影ヲ賣却スル  
一シルリンク<sup>我凡</sup>ツ、ナリ農部省地ハ右キウノ園庭  
ト竟<sup>五錢</sup>ノ能ハス亦本草學ノ景況ヲ悉ク盡セリトモ言ヒ  
カタシ故ニ唯自國ノ勢力ニ任セテ稍々彼レニ類似セシ  
モンノミ

○右ニ記セシ如ク園丁課ノ目的トスル所ハ有用ナル質  
ヲ含有シ米國ノ風土ニ適セル外國産ノ植物ニ在リ工ノ  
旨趣ニ基キ當課長ハ正ニキ告諭ヲ示シ農事ヲ以テ新タ  
ニ有益ヲ起スヘキ所ノ住民ノ企ヲ助ケ成セリ此助成ハ  
曾テ刊布セサル所ノ官ノ通信ニテ子フヘシト雖モ其時ニ  
當ツテ價ヲ失ハサリシヨヒハ合衆國ノ風土ノ如ク、フハ  
一レニハート<sup>寒暖計</sup>五十五度以下ニ下レル温度ノ地ニ  
於テハ植育セシムルヲ能ハス○シンエー<sup>ナ</sup>種トナハ

其温度三十二度ヨリ下ラサレ地ナレハ培養スヘシコレ  
南カリホルニアノ風土ナレハ成育スヘシト思ハル○茶  
トイウカリトス、グロブエーロス<sup>油ヲ含ム</sup>トハ唯合服  
國ノ或ル地方ニ於テノニ生育スヘシ○橄欖ハ我南部ノ  
地ニ於テ榮エン但シソハ成長ノ速カナラサルト其油ノ  
容易ク質製スヘキトヲ以テ培養ナスト雖モ其益多カラ  
シ○無花果ハ北方ハバルシモ<sup>ドマリ</sup>北部迄ノ地ナレ  
ハ幸ニ育殖スヘシ而シテ其地方ニ於テハ蓄方ニ意ヲ盡  
スト雖モ未タヨク遂ル<sup>ト</sup>難シ故ニ菓實ヲ乾燥セシムル  
近年ノ良法ヲ以テ試ムヘキ趣ヲ諭示セリ右數例ノ如キ  
ハ時々尋問ノ應答中ニ當課ニ於テ記入シタル所ノ告諭  
ノ主意ヲ証スルタメニ掲ケシナリ當課ハ唯無益ニ試験  
ヲナセルノミニカヲ用フル<sup>ト</sup>防キ且ツ適宜ノ指令ニ

テ人ノ作業ヲ奨励セル告諭ヲ示シ農部省ノ事務ニ功績  
ヲ加フル<sup>ト</sup>少ナシトセス○課長ハ本省ニ聚メタル外國  
ノ植物類ノ目錄ヲ録シテ而シテ其寫冊ヲ賓客ノ覽ニ供  
ス又昨年中ニ顕微鏡ニテ梨ノ腐敗桃ノ黄色葡萄ノ微其  
他菓實疾病ノ原因ヲ查索セリ其趣ハ本省ノ報告ニ掲載  
ス可シ蓄藏所ハ近時外國ノ葡萄九十種ト柑類百七十種  
ヲ増加セリ

○本課ハ課長一名ト副官二員ト其命ニ從フヘキ僅ノカ  
作人トニテナレリ○当省地ノ設備ハ未タ全ク整ハス千  
八百七十一年ト同ク二年トノ間ニ右設備ノ為メニ官金  
二万六千弗ヲ費セリ試験園庭ハ為メ右兩年間ノ準備金  
ハ毫万弗タリ此額ニテハ其年中ニ育殖セシメテ分賦セ  
ト各種ノ植物ヲ買ヒ得サラン

化學課

此課ハ化學士ト助官トノ二名ニテ司レリ其施業場ハ國内ニ於テ家モ全備セシモノ、一ニ居レリ而シテ分析用ノ諸品ヲ辨買スヘキ備金ハ自由ニ處分シテ妨ケナシト議事院ニ於テ定メタリ實ニ此學科ノ有用タルハ際限アラサルナリ近來農事ノ化學ハ進歩セル米國農家ノ注意ヲ促ス少ナカラス農家ハ論理ノ教令ト曰クノ作業ノ原由ト其倚賴ニ充ツヘキ實業ノ誘導トヲ以テ自カラ之ヲ農部省ニ仰ケリ農事ノ化學家タルリビク、ブヲイルコル等數輩ノ其事業ヲ廣ク僥倖セシ所ノ旨趣ヲ固執シ大ニ方便ヲ用ヒ現今ノ如ク本省ノ事務ヲ進歩セシムル為メニ望ムヘキ道理ヲ保テル所ノ農家タル者方今迄ニ其助力ノ一端ヲ受クル歟受ケサル歟ヲ爰ニ尋問ス○本省

長官ハ耕耘ニ關セサル私設私益ノ為メニ當課ヲ用ユルヲ允サス又從前施業場ヲ總理シタル長官及ヒ化學家輩ノ祈望セサリシ各款ヲ所分スルヲ欲セス嘗テ官報ニ於テ或人ノ責問ヲ受ケタリ是各其職掌ヲ盡サンカ為メニ唯新礦坑ニ関セル人ト新酒ヲ賣レル人ト新藥ヲ輸入セル人等ノ黙止シ難キ請ヲ許セシノミナリ素ヨリ礦金ヲ試ミ礦水ヲ判チ釀酒家及ヒ賣藥家ニ證書ヲ與フル事ノ如キハ本省ノ本務ニアラス唯米國農家ノ為メニ實益トナルヘキ所ノ品類ヲ分析査索スルノミ若シ農家其田園中ニ障碍ヲ為シ除去セント要スル土層アツテ之ヲ分析セント欲セハ其標品ヲ本省ニ贈リテ分離セシムヘシ若シ又泥炭肥土燐酸塩ヲ所有スルモノアラハ凡ソ價ノ幾許ナルヲ其人ニ報知スヘシニ肥料ニ供セハ益アラシ

ト考定ハル所ノ岩類地面内ニ在ル時ハ其標品ヲ贈ルヘ  
シ唯化学課ノ大意ハ其農家ニ益アラシメント欲スルノ  
ミ故ニ植物ハ土ノ何ナル種類ニヨク産スヘキ欵總テノ  
植物ハ如何ナルモノヲ以テ如何ニ成長スヘキ欵小麦大  
麥裸麥燕麥玉蜀黍蔬菜料類等ニ肥料ノ如何ナル種類ノ  
善ク適スヘキ欵例ヘハ如何ナル土ニハ石灰ヲ要スル欵  
又如何ナル土ニ石灰ヲ用ヒタル害ヲ醸スヘキ欵何故ニ  
植物ヲ交換シテ培植スルヲ必用ナリトスル欵且ツ之ヲ  
交換スル中ニ何等ノ植物カ恰好順廻ヲ生スヘキ欵例ヘ  
ハ料類ノ汁液ニモ各多寡アリ其産物ノ中ニテ砂糖蒸菜  
ノ糖質ヲ含メル欵分欵又其汁液ヲ絞リシ製品ニハ養分  
ヲ含メル欵分ノ如シ且ツ方今何地ニテモ農家ノ製シ試  
ムル所ノ販賣肥糞ノ價ハ幾何ナル欵僅少ノ雜費ニテ農

家各其田園ヲ如何ニシテ貴重豊饒ニナシ得ヘキ欵等ノ  
類ヲ以テ常ニ之ヲ示ス○現今化学課ノ勉勵セル至重ノ  
事業ハ現業ニ関セル所ノ過燐<sup>ス</sup>酸<sup>ト</sup>塩<sup>ト</sup>其他肥糞類トノ  
元質ヲ悉ク查究セリ而シテ其地質ト培養セント欲スル  
植物トニ適スヘキ所ノ肥糞ヲ選ム媒トナルヘキヲ要セ  
ンカ為メニ其價直ノ量ヲ載セ農家ニ普ク通達セントス右  
肥糞類ニツキテハ詐欺質製ノ器々タル訴アレ氏木々其  
訴ノ信偽ヲ判ツ能ハス故ニ化学者ハ分離表ヲ作り其始  
メニ分析セル肥類ニ含メル所ノ溶解不溶解ノアニモニ  
アポッターズ燐酸ノ品位ヲ記シ次ヘ一噸<sup>我凡二百</sup>ニツ  
キ右成分幾ポンド及ヒ百分ノ幾許ト其量ヲ掲クルナ  
リ此方法ハ買フヘキ農家ニモ賣ルヘキ製家ニモ損益ア  
ラスコハ英國ニテ主張セル方法ト同様ニシテ詐欺ヲ施



ス製造人ヲシテ突然市街ヨリ追逐スルモノナレハ農家  
ト正シキ製造家トノタメニハ大ニ便益ナリト云フヘシ當  
省拖葉場ニ於テ方今措置セル所ノ右ノ如キ查索農家  
ノ為メニ益トナレルヲ千八百六十四年英國農社中ノ  
為メニ博士ブライルケール彼ノ年報中ニ左ノ如ク記載  
セルヲ以テ其証トナスヘシ曰ク作為セル肥糞ノ贋製ハ  
日々減少セルヲ以テ余爰ニ報知セルヲ満足トス當時  
ペイリユー國ノ鳥糞ノ標品ニ少シク偽製アル事ヲ突覺  
セリニ過燐酸塩石炭ノ如キ肥類ハ通例前年ヨリモ佳質  
トナリ其實價モ貴ク販賣スヘキニ至レリ其他家畜ノ飼  
品トシテ普ク鬻ケル所ノ油糟ノ標品ヲ查索ノ為メニ右  
同氏ニ贈レル者アリ其中大量ニ莖蔴ノ皮殼雜錯セル  
ヲ彼レ直チニ顕微鏡ニテ突見セリニ近時ノ報中ニ之ヲ

用ヒシ農家ノ畜類ニハ驚クヘキ病ヲ起セシ説アルヲ  
記載セリ○化学課ニ附属セルモノハ地質并ニ礦物學ノ  
室ト視術器ト精巧ノ顕微鏡トニテ其他ニモ觀客ニ感ヲ  
起サシムヘキ所ノ數品アリ

本草課

農部省中ノ本草課ハ千八百六十九年ノ春ニ至テ漸ク設立  
シタリ其初メ各所ヨリ乾燥セル植物ノ標品ヲ贈リ未ル  
テ數千ニ及ヘルヲ以テ其種類ヲ區別シテ整置スルヲ  
巧ミナル本草家ニ委任セシヨリ基セリ爰ニ聚集セル所  
ノ本草類ハ多クハ各國政府ノ遠征ト測量トノ検査ノ顯  
微品タリ千八百六十九年三月ヨリ本草課ノ事務ヲ奉シテ  
注意セシ所ノ本村家ハ同七十一年九月マテ二ヶ年半年間  
彼ノ委託ヲ受タル内外ヨリ聚集セル所ノ乾燥セル植物

類ヲ以テ其製造ニ勉勵セリ右ノ植物類ハ方今省中ノ最  
大ナル一室内ニ置ケル所ノヨク製作シタル各種ノ胡桃  
箱ニ充滿スコハ曾テ農家ニ益アリシ歟ニ後未益トナル  
ヘキ歟ヲ探索セル所ノ尋問屢アリ右ニツキ當農部長官  
ハ唯乾燥セル植物ヲ集ムルノミニ注意セルトハ農家ノ  
現業ヲ獎勵ナス為メニ設ケタル所ノ當省ノ本料家ニハ  
不適當ナルヘシト考定セリ此ノ如キ注意ハ大ニ學校等ノ  
聚蓄場ニ用ヒハ可ナラン故ニ農部省ノ本草家ハ植物類  
ノ慣習性質用法疾病成育ノ順序等ヲ以テ農家ニ教示ス  
ヘキ所ノ植物学士タルヘク實ニ植物学ニ明カニシテ其  
養品氣候地味ノ作用等ヲ了解シ耕耘ノ方法ヲ以テ植物  
類ノ質ヲ変セシムル如キハ農家ノ為メニ極メテ緊用ナ  
ルト疑ヲ容レズ藥物ト穀類トヲ培養セル所ノ農家ノ為

メニ大ニ益トナルヘキモノハ植物ノ疾病ヲ知ルニアリ  
ソハ病ニヨリテ年々無量ノ損失ヲ生スレハナリ右疾病  
ヲ查察シテ其原由ヲ發見シ成育繁茂ノ方法ヲ示ス等ハ  
農省本草家ノ職務タルト明カナリ又本草家ノ業ニハ農  
事ノ益ト富有ノ源トヲ新開スヘキ曠野アリ當省長官ハ  
本草家ニテ務トナス所ノモノハ務メテ手術藥品器械等  
ニ有用ナル元質ヲ保含セル所ノ自然物ヲ指示スル従来  
山野ニ在テ曾テ世ニ知レサル所ノ物品中護謨砂糖染料  
乾藥纖維澱粉油類及ヒ方今我國人ノ恐慌スヘキ金額ヲ  
外國人ニ付スル所ノ飲料等ノ代用トナルヘキ品類ヲ製  
スヘキヲ指示スルニアリト信セリ本料家ハ其他西部ノ  
平坦ナル地ニ於テ速ニ成育スヘキ林木ハ如何ナル種類  
ナルカ又何ノ草ハ南部ノ炎熱ニヨク堪ユヘキ等ノ如キ

事ヲ以テ指示スルニ至ラハ意ヲ竭シテ乾燥セル植物ノ  
聚集ニ従事スルヨリモ及テ米國農家ノ為メニ遙カニ卓  
効ヲ顯スニ至ラン方今ノ本州家ハ長官ノ目途ヲ達スヘ  
キ学識ヲ有シテ其事務ヲ奉セリ故ニ当省ニ受クヘキ植  
物ノ標品類ノ整置ハ曾テ怠ラス唯本草課ニテハ乾燥セ  
ル植物ノミヲ聚集シテ他ノ高尚学士ノ望ニ充ツルヨリ  
モ農家ノ為メニ緊要ナル有益數千倍ヲ加ヘ且ツ其注意  
ニノミ時間ヲ費シ長官祈望ノ旨趣ヲ失ハサル目的ヲ保  
テリ

### 蟲學課

一本課ハ農学士一員ト副官一名トニテナレリ本課ニ於  
テ現今施行セル所ノ旨趣ハ千八百七十年間ノ報告中ニ  
記載セル蟲學士ノ語ノ摘録ニ曰テヨク了解スヘシ故ニ

爰ニ之ヲ掲ク曰ク昨年中合衆國ノ各地ヨリ近來植物類  
ヲ損害スヘク視認セル蟲類ノ究理ト其慣習トノ告諭及  
ヒ其毀傷ヲ回復シテ是ニヨリ起レル損失ヲ務メテ減少  
セントテ祈望セル所ノ書牘數通ヲ急報シ來レリ是ヨリ  
十二ヶ月間ニ従前曾テ知り得サリシ所ノ蟲類ノ食品ト  
慣習トニツキ公私ノ蟲學ニ依テ數種ノ新發明ヲ為セリ  
是ヨリ先キハ唯野草等ニノミ生スヘキ者ト思考シタリ  
シ所ノ蟲類ハ多ク耕耘セル所ノ植物ヲ損傷スルヲ究  
覽セリ此旨趣ヲ公告スルニハ不幸ニヒテ一介年ニ止マ  
リシ所ノ米國ノ蟲學兼植物學士タルリレー氏ノ日誌並  
ニ群籍中ニモ曾テ稀ナル蟲學現業家タル鑿師フナツチ  
鑿師ワルン等數輩ノ著セル書籍中ヨリ廣ク之ヲ舉述ス  
ルト緊要ナル可シ○植物ヲ害フ蟲類ニツキ農家ノタメ

ニ本課ヨリ通スル所ノ報告ハ大抵右ニ掲クル如キ蟲学ノ鼻祖ト仰カレタル所ノ數家ノ説ヲ引用スルモノナレハ確乎トシテ貴重スルニ至ルヘシ当課長ハ幸ニシテ本省ノ書庫中ニ蟲書類ヲ聚集スル事務ノ効ヲ著ハシ國ニハ幸ニシテ蟲害ヲ探索セル所ノロイス五代チヤールスリレ一君等數輩ノ如キ蟲学士ヲ出セリ都テ有識ノ農家ハ蟲学課ヨリ出セル報中ニ掲クル所ノ農業日誌ヲ引用セル条ヲ閱シテ蟲害ヲ防クヘキ至良ノ方法ヲ需ムルニ難カラシ○本課蟲学士ノ務トスル所ハ自ラ山野ニ行テ僅ニ知り得タル惡蟲ノ状態ヲ認ムルヲ要セス唯其書記誠實ニシテ差違ナキヲ以テ正シトス然リト雖モ屢次自カラ田林ニ至リ他ノ蟲学家ノ論理告知ノ可否ヲ正シテ惡蟲ノ害ヲ防ク方法ヲ施スヘキヲ要スヘシ右ニ曰

テ爰ニ查察ヲ要セントスル一証ヲ掲クヘシ蓋シ何ノ地方ニ於テモ恐ルヘキコロラド馬鈴薯虫ノ状態ヲ未タヨク了解セス其毀傷ヲ防ク方法ノ發明ナキヲ以テ本年中農家ヲシテ數千金ヲ損失セシムルニ至ルヘキ一是ナリ○我數國ノ廳ハ各惡虫ト戦ヒ普ク其事業ヲ弘メテ農家ヲ助クヘキ所ノ蟲学士ヲ用ヒサルナシ農部省ノ蟲学課ハ意外ニ其誘道ヲナルコトアラシ

### 博物館

博物館ハ当省樓工ノ大ニナル一室ニシテ長サ百。二ノ幅五十二ノ高サ二十七ノアリ其室ノ構造ハ雅致ニシテ胡桃縁ノ美蓋ナル硝子箱其中ニ充テリ又別記ヲ要スル價アル無雙ノ家具アリ是レカリホルニアニテ生シタル赤木ノ一片ニテ造リタルモノニテ長サ十

ニフール幅セフール半アル臺ナリ当博物館ハ唯農事ノ  
品類ノミニ限ルヘキモノナレ氏必スシモ之ニ拘マス其  
耕耘ニ関セサル所ノ數品ヲ備フ但シ是等ハ必ス農産ヲ  
以テ變更スヘキ時アルヘシ当今博物館ニ備フル物品中  
ニハ綿毛亞麻絹火麻レミ一其他織緯類並ニ諸外國ノ小  
麥大麥燕麥等ノ穀類ノ標品及ヒ自國ノ穀類玉蜀黍煙草  
等ノ標品或ハ諸國産ノ紙就中日本支那ノ紙數種及ヒ甘  
蔗支那甘蔗楓蒸菜等ヨリ製シタル砂糖并ニ舍利別及ヒ  
家禽類アリ博物館ノ特ニ景色ヲ保テルモノハ如何ナル  
菓樹蔬菜ヲ獲テ耕耘セハ益アルヘキ欵ヲ探索セル所ノ  
觀客ノ為メニ各國ノ地質氣候ニ應シ産シタル現状ヲ露  
ハセル所ノ林檎桃梨梅櫻馬鈴薯南瓜等ニ類似セル模造  
ノ菓實蔬菜ヲ備ヘタル場ナリ○農具類ハ他國ヨリ來

ル觀客ノ覽ニ備ヘ且ツ進歩セル耕耘ノ方法ハ曾テ知レ  
サル所ノ州郡ヨリ來レル農家ノ足ヲ遅ムヘキ改良セル  
犁玉蜀黍耕耘作器玉蜀黍粉末具玉蜀黍栽植具京良ノ齔  
敷刈草器刈穀器除穗器ノ模形等ト一マスセフエルソシ  
ビソロウードノ時ノ犁及ヒ老婆ノ馴レタル紡車類モ當  
國人ノ發明アル精神ト器械ニ練熟ナルトヲ爭競セシ固  
難ハ巴ニ過キシト雖モ本國農家タル者右ノ觀客輩ニ其  
信ヲ起サシムヘキ所ノ鑣連松ハ当博物館ニ陳列セサル  
ナリ斯ク缺漏アリト雖モ尚意ヲ注クヘキ價アル所ノ數  
種ノ光景ヲ含ミ觀客ヲシテ政府ノ地位ト認メシムヘシ  
博物館ノ目錄ハ大抵當省ヨリ出ストイヘトモ無數ノ標  
品ヲ設備スルト毎歲ノ聚集トニ至ツテハ諸人ノ注意ヲ  
仰カンフヲ要セリ○當場ハ蟲學家ノ所管ニシテ其助官

ニハ動物ノ真像師並ニ菓實蔬菜ノ模形師アリ

第八書庫課

本課ハ現今凡ハ千冊ノ書籍アツテ當國中ノ極メテ滿備セル書庫タリ其書ハ大抵農業ノ基礎トナルモノノミニシテ本草學地質學大氣頭像學蟲學類ノ書籍少ナカラス殊ニ倫敦ノ有名ナル本草家リンネヲス社中ノ所分ヲ記載シタル所ノ稀有貴重ノ博物蟲學ノ書四十冊ニ富ミ又各邦農局ノ年報並ニ農會社園丁社中菓樹社中ノ年報等ヲ殆ント遺漏ナク備ヘ置ケリ此年報中ニハ大益ヲ得ヘキ價アルモノアリ故ニ事ニ練熟セサル人々ハ米國人ノ耕耘ニツキ如何ニモ活潑ニシテ強ク且ツ迅速ナル問ヲ右報中ニ掲ケタルヲ閱シテ驚愕スルニ至ルヘシ當館ニ儲有スル書籍ハ大抵議事院ヨリ毎歲給セシ所ノ僅少ノ

備金ヲ以テ需メタルモノナリ又本省ヨリ出セル所ノ報告書ノ償酬ニ因テ外國政府及ニ諸社中等ヨリ獲タル所ノ書籍少ナカラスニ英佛獨逸意大利ノ農學會社ノ施行セル報告ハ常ニ之ヲ領収ス當書庫ニ於テ心ヲ留ムヘキ光景ヲ保テルノ一ツハ蔬菜花類ノ價アル画圖ヲ載セタル所ノ華蕪ナル印書ノ種類ト又各草及ニ蕨類ノ美蕪ニ整置シタル標品トナリ○書庫ニ充タル室ハ當省建設ノ極西ノ下階ニシテ上等黒木ノ硝子戸アル箱多クアリ又中央ニ同木ノ臺ヲ置キ鏡柵等ノ裝飾適宜ニ整ヘリ書庫管理人ハ備金等ニテ獲タル所ノ書籍類ノ目錄ヲ編製シテ速カニ刊布ス可シ○當省ノ書記官並ニ數多ノ觀客日々右等ノ一ヲ議スルト蚤モ尚日々當書庫ニ受ル所ノ外國ヨリ來ル貴キ報告ト並ニ定時ノ新報類トヲ省中ニ

於テ引用ナス事ノ多カラサルヲ以テ遺憾トセリ○現今ノ書庫管理人ハ國ノ其地位ニ在テ緊要ナル諸事ニ堪ユヘキ能ク備ヘタル所ノ學識アル貴人ナリ

### 通信記録會計課

條理ヲ以テ之ヲ言ヘハ當課ハ當ニ設スヘカラサルニ似タリト雖モ斯ノ如キ課ヲ設ケテ順序ヲ正シ事業ヲ分チ其責ヲ擔ハシムヘシ當課ニ関カルヘキ省中ノ雜務ハ金銀印刷文具ノ會計並ニ農會ノ通信並ニ其會社ノ心記ノ録存並ニ外國通信及ヒ種子ヲ買フヘキ通信及ヒ種子ノ需求ト特別ノ新報ト報告トノ通信及ヒ書翰ト書類ヲ寫ス事等ナリ當省ノ通信ハ極メテ緊要ナルモノナレハ其効微ニ基キ意ヲ注キ其管理ヲ正シク確立セシメンコトヲ要ス殊ニ望ム耕耘ノ方法ト收納ノ整理ト新種子並ニ植

樹ノ輸入ト溝渠ノ修法ト荒蕪地ノ恢復ト蟲害ト其他農事ニツキ記者ノ為メニ必要ナル旨趣等ニ関スル所ノ書牘ニハ良工ノ方法ニ倣ヒ速カニ詳明回答アラントラ當省ハ凡テ農家ノタメニ設ケタル通信局ナレハ各知ル所ヲ往復スヘキ聰明ナル書記官在職スヘシ

### 證書分賦課

物ヲ封緘スル室ノ長官ト助官一名トニテ成レリ○省中ニ在テ事務ヲ奉スル全員ハ大抵五十名ノ書記官ト專業家ト五十名ノ使丁ト力作人ト其他傭人トナリ○本年間ノ當省定額金ノ全數ハ種子類ヲ需ムルト場地ヲ良クスルトノ費ヲ合セ十九万七千。七十弗ナリ

一千八百三十九年中政府ヨリ農事奨励ノ為メニ一千弗ノ準備金アリシヲ始トシ農事新報刊布ノ雜費ヲ除キ同

七十一年六月三十日迄ニ二百二十一万六千九百六十三  
弗ヲ費セリ農部省建築ト其諸具トニ費セシ全數ハ十四  
万弗ニテ蓄藏所ノ費用ハ二万五千弗タリ

農部省定額法則

農部全權ノ歳俸 三千弗

同書記官長ノ歳俸 二千弗

一 九萬弗

是農業ノ情実聚集ノ為メ及ヒ田舎農

業ノ經濟法ヲ進歩セシムル為メ及ヒ各種ノ有用ナル新  
種子並ニ苗トナルヘキ切枝ヲ求メ得之ヲ植殖シテ分賦  
ナスタメ及ヒ喰虫鳥ヲ求メ得之ヲ生育セシムル為メ及  
ヒ有用品ノ製作場ヲ設ケ農事分析術ノ諸装置ヲ具スル  
タメ及ヒ書記及ヒ其他ノ役夫ニ給与シ且ツ省中ニ於テ  
不虞ニ生スル所ノ必用ナル入費ノ為メ等ノ定額金ナリ

○又綿ト煙草トノ耕作ヲ増進セシムル為メニ三千弗○  
又亞麻ト麻トノ培養ト其製法試験ノ為メニ二千弗

右ノ金ハ合衆國各地ノ農業進歩ヲ求ムル為メナレハ口  
錢兌換贈物貸附等ニ用ユルヲ允サス並ニ合衆國ノ政府  
ヨリ俸金及ヒ雇給ヲ受ル所ノ書記使者守者等ト並ニ此  
輩ノ社中及ヒ家族及ヒ傭人等ニ増勤等ノ償ヲ以テ典ヲ  
ルヲ得ス右ノ規則ヲ違犯スル款或ハ其他議院ニテ定メ  
タル所ノ條款ニ背キ切枝種子等ヲ販賣シ或ハ假貸等ノ  
舉ヲ為セシテ發露スル時ハ必ス其主者ヲシテ退職セシ  
ムヘシ

右ハ第三十六會ト第三十七回トニ依テ決シタルモ  
ノナリ



農部省場地地面ノ事

当省場地ノ改革ハ従前ノ畫試ニ從ヒ實ニ充分ナル落成ニ趣ケリ先建築ノ前面ニ在ル散歩道ニ適要スヘク曾テ預算セシ如ク極メテ堅牢ノ塀ヲ以テ之ヲ覆ヘリ此塀ニハ手摺等ノ附添アツテ地位ニ風景ヲ増シ且ツ家屋建築ノ法ニ適ヒ正シキ落成ヲ模造スヘシ散歩道ノ類ハ充分ニシテ不足アラス前面ノ西部ノ地ハ製作場ナリ油脂ト鑿類トノ聚合セル蓋ヲヨク設クル時ハ道路ノ為メニヨク適スヘシ場中野菜ノ育植ヲ記セサル地ハ貴價ノ植

物ヲ作ルヘキ目的ナリ堅木及ヒ灌木等ノ小株ヲ植ルハ其物ヲ獲ルニ隨ヒ直チニ之ヲ所分セリ尚之ヲ需メント欲スル者多シト雖モ甚タ乏シキカ故ニ聚求景況ニヨリ必ス之ヲ撰ミテ遠國ヨリ輸入セサルヲ得ス是等ノ着手

ヨク整理スル時ハ当省ノ所置ニ尚一層ノ貴價ヲ加ヘン  
ヲ必セリ現ニ方今ノ景況ニ就テ之ヲ察スルタモ既ニ学  
者ノ注意ニ觸レ当省ノ價ヲ増益スルニ至レリ